



No.42 2023.6.22^{発行}
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<https://suirantaiikukai.com/>



部活動の縁が、先輩、友、後輩たちとの固い絆を繋いでゆく

現役生との交流や先輩、友、後輩たちと旧交を温める軟式野球部、弓道部、和太鼓部のOBたちがいる。これからも幅広い年代で交流が続くよう、OB会発足に向けエールを贈りたい。

和太鼓部

小島 光明(106期)

和太鼓部草創期

執筆に当たりまして、和太鼓部創設時の同期にも色々話を聞くとともに、辛うじて思い出せた私の拙い記憶を繋ぎ合わせてこの文を書いています。この作業を通していつか和太鼓部の正史を作つて頂きたいなという気持ちになりました。

では和太鼓部の話を始める前に私の話を少しだけ。私は入学時から体格が良く、父や父の同期の方々から「高高的の体育ではラグビーをやっていたんだ。」という話をよく聞いていたので入学してラグビー部に入るつもりでした。しかし、同期のラグビー入部希望者のレベルが非常に高かった事と、入学式などで見た応援部の太鼓をやりたいと思ったことで、あっさり前言撤回し応援部に入りました。

そんな太鼓がやりたかった人間だったので、同期の宇野に「和太鼓部やろうぜー。」と誘われ、あっさりOKした気がします。なので、創設のメンバーの一員ではあります、実際に創設したのはその話を纏めた宇野と水面下で円滑な活動が出来るように取り計らってくれた顧問の三浦先生のお陰です。なので私は一番核心的な和太鼓部創設の詳しい話は知らないのです。いつか宇野に詳しく聞いてみたいものです。知っていることと言えば、以

前から和太鼓は翠巒祭のイベントステージで漢組という演目で行われていました。それを群馬県で行われる全国総合文化祭の郷土芸能部門に向けて部活化しようということで作られたということくらいでしょうか。ですが、私が入った理由はより単純でした。応援部の太鼓をもっと大きい音で叩きたい!という事と、応援部の同期の武藤、佐藤、富岡に「お前が和太鼓を叩くと太鼓から焦げ臭い匂いがする。皮焦げてるでしょ。」なんて言われていたので、正しい打ち方を知りたかったという事、そして我々が3年次の全国総合文化祭の開催地が京都だったので、京都観光に行きたい!という気持ちで入ったように思います。そんな私でしたが発起人の宇野は快く迎えてくれましたし、同期の國峯、櫻井さん、城田、馨ちゃん、委員長(中里くん)も皆暖かく迎えてくれました。今こうして見ても不思議なメンバーだなーと思います。翠巒祭実行委



員の夜祭班、定期戦実行委員会、軟式野球部、空手道部、囲碁将棋部、郷土部、物理部、生徒会、そして応援部とバラエティに富んだメンバーだなーと思います。そんなメンバーでしたが、最低限の人数は集まっていたらしく、すぐに同好会としてスタートすることができました。そんな急挙えの同好会でしたが、やる気だけはあったのか顧問の三浦先生が用意してくれたオリジナル曲『羊伝説』が良かったのかは定かではないのですが、同好会を設立した年の群馬県大会で優勝し、見事に全国総合文化祭に駒進めることになりました。

その際に同好会から部活動に昇格したのですが、実は特例的な昇格だったようです、流石に全国大会出場にあたって同好会では格好がつかないということだったのでしょうか。三浦先生の準備も入念にしてあったお陰かあっさり同好会から部に昇格し、晴れて創部1年目にして全国大会出場となりました。

私は応援部と兼部していたので、同期の3人からすると応援部の練習をしていないと思われていたでしょう。個人的には当時は和太鼓部の練習だったら何時でも太鼓を叩けたので、土曜などに偶にしか和太鼓が叩けない応援部の練習よりも効率がいいなと思っていました。いい機会なので同期に聞いてみると、実はも

う少し応援部の練習にも来て欲しかったと言わってしまいました。ですが、当時の私は太鼓を叩くのが楽しすぎて手首の軟骨を擦り減らすくらいでしたので、完全に和太鼓が中心になっていたのでしょうかね。そんな私でしたが、恐らく私が応援部と和太鼓部を兼部していたのもあって和太鼓部と応援部を兼部するという後輩ができたと思っています。2つ下の森がそうだったように和太鼓部に入り、太鼓も叩けるし声も出るので応援部を兼部するという流れになったのではないかなど思っています。私はあまり練習に参加出来なかったのですが、応援部の人員確保の流れを作ったので許して頂ければと思います。

さて全国大会ですが当然初参加ですので、大会 자체はどの県代表も凄いなーと思った記憶しかありません。なので全国大会に関する思い出と言えば、大会での演奏よりも数発の銅鑼を叩くためだけに後輩を京都に連れてきてしまったことや、最後の練習で演奏後の撤収が忙しくて実は熱中症で倒れていたにも関わらず気付くのが遅れてしまったなどという碌でもないことの方がよく覚えています。

そんなドタバタの和太鼓部でしたが、今では多くのお祭りに参加させて頂き地域の皆様からも愛されていると聞きます、今も後輩の方々が頑張って群馬の伝統として和太鼓部を引き継ぎ、頑張ってくれているということであれば私から何も言ふことはありません。

強いて言うのであれば、敢えてこの言葉で締めさせて頂きます。

伝統上更に業えあれ。

軟式野球部 田島 悅男(顧問)

軟式野球部OB会創設を祈念して

高崎高等学校軟式野球部監督の田島悦男です。今年で高崎高校に赴任して15年目を迎えます。これまで、高崎高等学校同窓会、翠巒体育会、教育講演会、PTAの皆様、OB、保護者、職員、そして、高軟式野球部を応援してくださるすべての皆様に支えられて活動して参りました。初任の伊勢崎工業高校で軟式野球部の顧問を務めて以来、19年ぶりの高校軟式野球の世界でした。本校の軟式野球部の連盟加盟は昭和63年です。当時は、群

馬県では21校の加盟がありました。現在は13校。部員不足のため、最近は連合チームで参加する学校もあります。少しでも、生徒のため、そして、軟式野球の世界に恩返しができればと思い、老体に鞭を打っております。

高校軟式野球は、春秋に関東大会が開催されますので、その群馬県予選大会が行われ、上位2校が出場します。群馬開催の場合は、3校が出場できます。そして、高校軟式野球の唯一の全国大会である全国選手権は、夏の甲子園大会が終了後、兵庫県明石市の明石トーカロ球場をメインに行われます。この全国への道で一番大変なことは、一県一校の代表ではないことです。チーム数の関係から全国を16地区に分け、代表校を争います。群馬県は北関東地区に属し、茨城、栃木、群馬の優勝校で北関東地方大会を行います。ここには、全国選手権優勝10回を誇る作新学院をはじめ、茨城、栃木の強豪校がそろっています。俗に、関東を制する高校が全国を制するとまで言われております。そんな状況で、本校は全国選手権の出場はありませんが、一番全国に近かった年は、平成27年に前橋市で行われた時でした。作新学院との試合は7回まで両チーム0-0で、8回に高崎はノーアウランナー1塁の場面を迎えた、その時、雷鳴があり、試合は一時中断となり、協議の結果、雷雲がしばらく留まりそうだという判断で、この試合はノーゲームとなり、翌日、再試合が行われました。結局0-4で破れ、作新学院は決勝でも高崎商業を破り(群馬開催のため群馬から2校出場)、さらに全国選手権大会でも優勝しました。勝負の世界にタラレバはありませんが、あの時に雷がならなければ…と、記憶からはずっと消えることのない大会となりました。

さらに、令和3年度と4年度に北関東地方大会に出場しましたが、いずれも作新学院に敗れています。令和3年度の大会は、1回戦で茨城の東洋大牛久に勝利しましたので、準優勝をいただきました。また、高校軟式には選抜大会がありません。選抜大会の開催が高校軟式野球界の念願でもあります。実現に向けて、現役員の方々や歴代の先輩方がずっと努力されてきたことでもあります。今後も地道な訴えを続けていくしかありません。こ

れもタラレバがあれば、平成21年度秋季関東大会で第3位になりましたので、全国選抜の出場資格があったと思います。この時に準決勝で敗れた相手も作新学院でした。

以下は主な大会結果です。

平成4年度秋季県大会	優勝(初)
関東大会出場(千葉県)	
平成6年度春季県大会	優勝(初)
関東大会(東京都)準優勝	
平成21度年秋季県大会	優勝
(17年ぶり2回目)	
関東大会(千葉県)	第3位
平成22年度春季県大会	優勝
(16年ぶり2回目)	
関東大会(茨城県)出場	
平成23年度春季県大会	第3位
関東大会(群馬県)	ベスト8
平成27年度県選手権大会	B代表
北関東地方大会出場(初)	
平成27年度秋季県大会	優勝
(6年ぶり3回目)	
関東大会出場(東京都)	
平成28年度県選手権大会	準優勝
平成29年度県選手権大会	準優勝
平成30年度秋季県大会	準優勝
関東大会(神奈川県)ベスト8	
令和元年度春季大会	優勝
(9年ぶり3回目)	
関東大会(東京都)ベスト8	
令和元年度県選手権大会	準優勝
令和元年度秋季県大会	第3位
令和2年度秋季県大会	優勝
(5年ぶり4回目)	
関東大会(茨城県)出場	
令和3年度春季県大会	第3位
令和3年度県選手権大会	優勝(初)
北関東地方大会(茨城県)	準優勝
令和4年度県選手権大会	優勝
(2年連続2回目)	
北関東地方大会(栃木県)出場	

高軟式野球部の練習会場は、主に
烏川河川敷の八千代橋第1野球場です。
ただし、土日祭日は、一般開放のため、使
用することができません、市内の町屋橋
グラウンドや藤岡市の烏川緑地グラウン
ド、吉井町の運動公園野球場などに出か
けています。インターネットで予約し、週
末や週初めはキャンセルがあるかどうか

の確認をしています。また、他校との練習試合に出かけるようにしています。

今回、翠巒体育会から原稿の依頼があり、あらためて高高軟式野球を振り返ってみました。翠巒体育会には、軟式野球部OB会はありません。翠巒体育会の大田部会長を中心に、ぜひ軟式野球部OB会をというお話をいただき、卒業生に協力を得ながら、創設をお願いしたいと思います。競技人口減少が大きな課題の中、毎年、入部希望があり、年度途中からでも軟式野球部の戸を叩いてくれる選手がいて、兄弟で入部してくれる選手、高校から野球を始めて、どんどん上手になる選手、そんな選手たちを見ると頗もしく、感謝の気持ちで一杯になります。今後も、みなさまから、ご支援、ご指導をお願いいたします。高高軟式野球部のため、微力ながら、選手と力を合わせていきます。

弓道部

神宮 嘉一 (88期)

あの頃の弓道部

ある日、私の携帯に一本の着信があった。翠巒体育会大田部会長(85期ラグビー部)からだ。「神宮くん、弓道部について寄稿してくれない。ゆくゆくはOB会でも立ち上げて、翠巒体育会のつながりを広めようよ」とのリクエストだった。「ハイわかりました。私でよければ喜んで書かせていただきます。」と気前よく引き受けたものの、高校時代弓道に打ち込む自分の姿は遙か遠くになりにけり。けれども引き受けた手前、記憶の中に仕舞い込んだ古い日記を紐解き「あの頃は!」を何とか呼び起こしてみたい。

ところで弓道部って高高にあるの?と疑問に感じられる諸先輩もおられるかもしれない。

私は88期(1989年卒)だが、当時は城南球場わきの売店奥にひっそりと市営弓道場があり、そこで活動していた。聞くところによると、その数代前に正式な部に昇格したらしい。もし我こそが弓道部を立ち上げた、とご存じの先輩がいらっしゃる。

山岳部OB (79期)

代表取締役・一級建築士 須川 光一
リフォーム工房 | 一級建築士事務所
株式会社 スカワ
創業60年・地域密着リフォーム専門店

っしゃれば是非お教えくださると幸いだ。いずれにせよ1980年代が弓道部第一期、いわゆる黎明期だ。

その後学校内に場所を移し体育教官室のとなりに青空道場として、自前の道場で活動を行った1990年代から2005年までが第二期で飛躍期だ。(これに関しては翠巒体育2019年NO.38で109期福田君が触れている。)

そして2006年に屋根付きの道場が完成し、全国大会にも出場できるようになった現在が第三期、黄金期ともいえるだろう。

さて、先にも触れたが当時の活動拠点は市営城南弓道場であった。勧誘の触れ込みは、学校を離れて部活ができ、しかも高崎市女弓道部と練習と一緒にできる、という他に類を見ない魅力的なプレゼンに、名門タカラカに合格したばかりで有頂天になっていた15歳の少年は即断即決であった。

確かに道場に行ってみると、そこには謳い文句通りの光景があった、がしかし4月の仮入部期間が過ぎるとそれは一変した。市女生が誰もいなくなったのだ。どうやら同時期に市女の校内に弓道場が完成したらしく、以来城南弓道場を彩っていた大切なピースがごっそり欠落してしまったのだ。

弓道部に入ったモチベーションが入部一ヶ月でほぼすべて失われ、どうなることかと思ったが、競技そのものは思いのほか楽しかった。ゴム弓から始まる地道な基礎鍛錬を経て、巻藁相手に初めて矢を射る。その後射場で初めて的をめがけて恐る恐る弓を引き、矢が放たれた瞬間の高揚感といつたら、戦国武将の仲間入りでもしたかのようだ。

当時の高高は市営道場の休日や開館時間に合わせての活動であったため、練習の制約もあり、お世辞にも強くはなかった。個人も団体もどうにか予選を突破できるくらいで、とても上位争いとまではいかなかった。しかし勉強や遊びとの両立には適しており、先輩後輩の仲も良く、部の雰囲気は非常によかったです。時に

山岳部OB (84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫
税理士法人 真下経営
高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

はケールダウンと称して仲間と城南プールで泳いだり、高校野球の応援をしたりと、程よい緩さも部活の楽しさを後押ししてくれた。大会や競技会は男女同時開催で、他校の生徒と顔を合わせる機会にも恵まれ、自然と仲間が増えたりもした。弓道というのは相手を打ち負かして勝敗を決めるのではなく、自身との戦いという競技特性から、その仲間同士に絆が生まれたりする不思議なスポーツだ。余談だが県大会は現在前橋グリーンドーム駐車場のところにあった県営弓道場で開催され、真剣勝負が繰り広げられていた。言い伝えによると、そこでは淡い恋の矢もまた数多く飛び交い、そのほとんどが命中することなく朽ち果てて行ったと聞く。もしかしたら将来、古戦場としての記念碑がどこかに建立されるかもしれない。

ところで高校で部活を引退してからのちは残念ながら弓を引く機会は無いが、入退場時に神前に礼をするとか、袴姿で競技を行うなど、あの静寂な空間で非日常を経験させてもらったことは今でも鮮明に覚えている。同窓会幹事期を務めた前後には弓道部OBに出会う機会もあり、昔話に花が咲くこともあった。それこそ弓道は年齢に関係なくできるから今度やろうぜ、みたいな会話にもなる。当時の顧問先生方(真砂先生、高橋寛先生)とお会いする機会もあり、昔話に花が咲くことはなかったが、お世話になったお礼を伝えることもできた。ここ数年のコロナ禍もようやく過ぎ去ったので、久しぶりに集まりみんなで酒でも酌み交わしたいものだ。どうやら2000年代以降の弓道部OBはかなりの数がいるらしく、彼ら若手との世代間を超えた交流もまた楽しみだ。

純粋なまでに不純な動機で始めた弓道だったが、どうやら数十年の時を経てあの頃に立ち返って弓を引く日はそう遠くないかもしれない。はたして放たれる矢はどんな放物線を描いて飛んでいくのだろう。少しでも直線に近いと良いのだが。

山岳部OB (78期)

税理士 吉井 章一
吉井会計事務所
高崎市上中居町1646-1 TEL 027-386-5500

剣道部

青春の絆

KIZUNA

江原 洋(74期)

剣道部の思い出

私は昭和47年の春、剣道部に入部、良き同期（川口君、赤尾君（故人）、飯野君、杵渕君、佐々木君）に恵まれ、3年間お世話になった。私は、高校から剣道を始めたが、卒業までの3年間剣道を続けられたのも、先輩後輩諸氏はもちろんであるが、何といっても素晴らしい同期に恵まれたからであり、今回の寄稿にあたり改めて感謝したい。

当時の顧問は、別府先生で、当然のことながら、練習は厳しかったが、短時間での密度の濃い練習だったので、余暇時間も有効に過ごせた。剣道の思い出と言えば、夏の蒸し暑い中、剣道場に入る時の汗臭さと夏合宿での汗に濡れた胴着を着るときの何とも言えない怪感（？）だ。

練習以外では、翠巒祭、特に思い出に残っているのは、運動部と文化部の歌合戦だ。わが剣道部で歌ったのは、忘れもしない「なみだの操」で、一番が飯野君、2番が私、3番が杵渕君だったと思う。記憶違いであればご容赦願いたい。審査結果は、惜しくも優勝は逃したものの、2票を獲得した。優勝は3票獲得したテニス部だったと記憶している。（これも記憶違いであればご容赦願いたい。）

いずれにしても、高崎高校の3年間は、剣道部に入部したこと、有意義で楽しい高校生活を送ることができた。私は現在も現役として仕事を続けているが剣道部で過ごした3年間は、短い期間ではあるが、間違いなく私の人生にプラスになったと思う。厳しい（？）練習に耐え3年間継続できたことがあるが、剣道を通して心の糧を得たことだ。「礼に始まり礼に

終わる」剣道を初めてまず実践することだが、剣道を初めてまだ若輩者であった私が、珍しく真剣に考えた言葉だ。礼節を重んじる、誠心誠意、相手を敬う心など「言うは易く行うは難い」言葉だが、これこそ人と人の心の絆をつくる言葉なのかも知れない。



KIZUNA

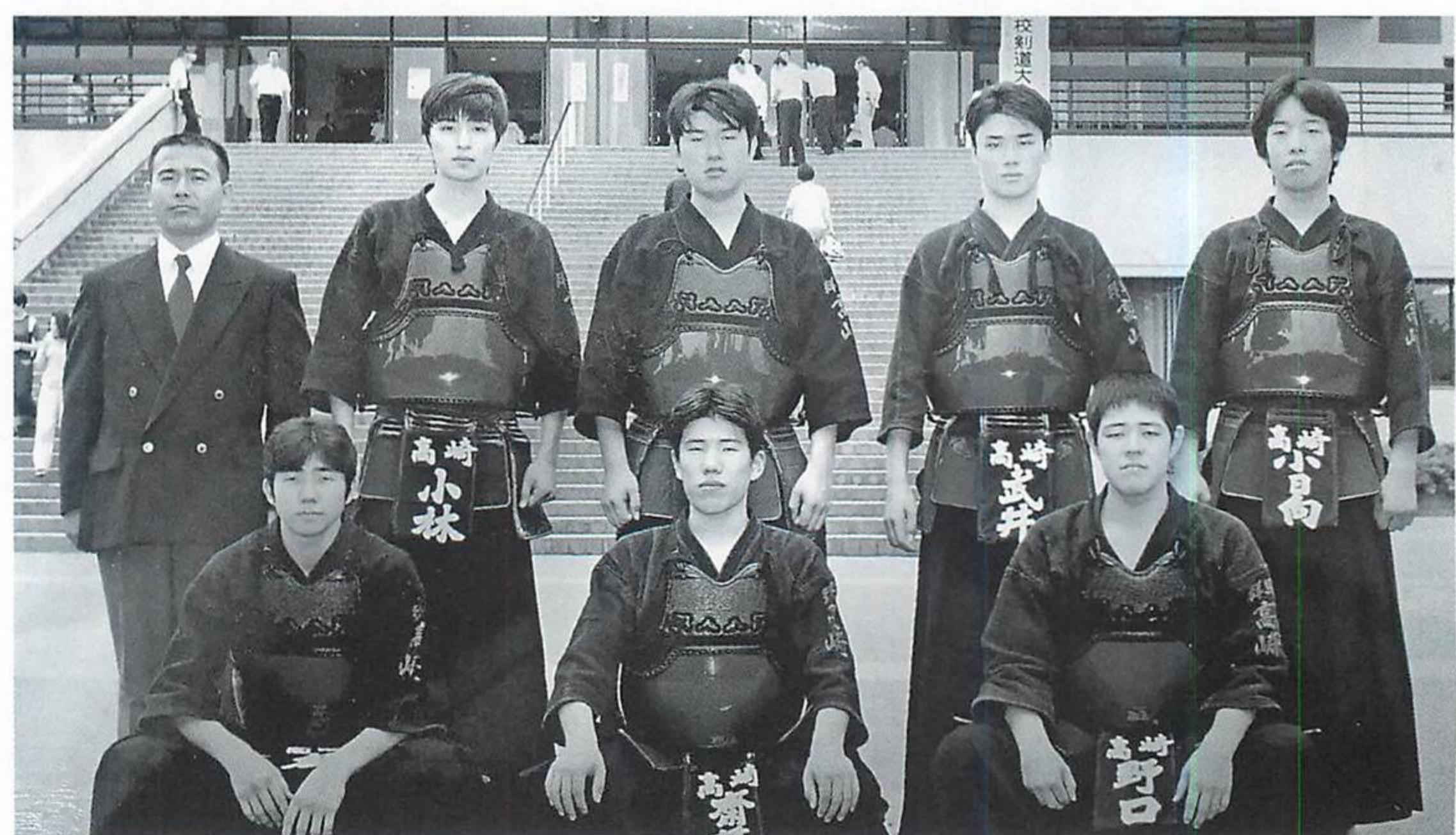
斎藤 建一(96期)

剣道部時代を振り返って

私は、96期卒業の斎藤建一と申します。初めに高崎高校卒業後のこれまでの動向ですが、卒業後は東北大学に進学しました。自分の気持ちの中では、高校で剣道には区切りをつけたつもりで、しばらくは武道とは全く異なるサークルなどに所属したりしていましたが、なんとなく物足り無さを感じて過ごしていました。そんなある時、同年の剣道をこよなく愛する方に誘われるまま道場をのぞきに行つたのが運の尽きで、そこから大学4年まで結局剣道を続けてしまうことになった次第です。現在、私は和歌山に在住しておりまして、日本製鉄という鉄鋼会社に勤めています。日々仕事に追われる日々を過ごしており、残念ながら大学卒業後は、竹刀は握っておりません（ですが防具一式だけは揃えており、体以外は、準備はできている状況ではあります）。そんな中、今

回、このような執筆の機会をいただきましたので、もうだいぶ記憶が薄れてきていたところでしたが、高崎高校の剣道部時代を思い返してみたいと思います。

高崎高校剣道部に入部して、日々の練習や夏の合宿といった思い出もありますが、やはり思い出深いのが目標である関東大会に出場できたことがあります。2年生の時ですが私は団体戦の次鋒として出場させていただきました。県大会にて関東大会出場まで勝ち上がり、関東大会でも次鋒として出場させていただきました。残念ながらあまり活躍は出来なかったのですが、大変良い経験をさせていただいたと思っております。3年生になってからは、主将を務めさせていただきました。私の個人的な考えですが、高崎高校剣道部は、お世辞にも強豪校ではありません。強豪校に比べれば、練習時間も少なく、練習試合や遠征といったことも頻繁にはやってはおりませんでした。とはいっても、やるからには強豪校だろうが負けたくなく、むしろなんどなくそんな状況でも勝つのが高崎高校たる所以ではというように勝手に思い込んでいたように記憶しています。そのために私が意識していたことが、短い練習時間の中でも、技の練習一本一本に集中し、常に試合の雰囲気の中で放つ技と同じイメージで練習することだったように思います。練習とはそういうものかもしれませんのが、なんとかして、短い時間でも最大限の効果



カーエレクトロニクス グッズ&サービス
群馬電装株式会社
本部・サービス部：高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
代表取締役社長 川口 昌啓（剣道部74期）

群馬トヨペット株式会社
前橋市石倉町 2-6-5
TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作（剣道部71期）

金井勉社会保険労務士オフィス
金井 勉
社会保険労務士 金井 勉
(剣道部 66期)
〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1
TEL.044-948-6591
E-mail kawai7@world.ocn.ne.jp

が出せるようにと考えていたのを覚えております。とはいっても、県大会のウォーミングアップ時などは、他校が強そうに感じ、主将として練習のやり方がまずかったのではないかという不安な気持ちがありました。ですが試合では勝つことができたので、間違ってはいなかったのかなと大会の度に感じていたのを覚えております。私はメンバーにも大変恵まれていたと思っています。最終的に同期3年生は7人となりましたが、個性的且つ実力もあるメンバーがそろっていたのではないかと思っています。最後まで一緒に頑張ってくれたことに感謝しております。また、こんな3年生についてきてくれた後輩方々にも先輩として何が出来たのかなと思いつつも、我々を支えてくれたことに感謝しています。さらに、諸先生方、先輩方の熱心なご指導をいただきまして、3年生の時も県で団体ベスト4まで勝ち上がることが出来(付け加えますと個人でもベスト4になれました)、2年連続で関東大会に出場する了出来ました。関東大会では、予選リーグで敗退となりましたが、関東のとんでもない強豪校とも剣を交えることが出来、今でもその時の試合の情景が記憶に残っております。思い返しますと、高崎高校剣道部に所属

して、本当に良い経験と思い出が出来た
と感じております。

最後になりますが、現役の高崎高校剣道部皆様のご活躍と、高崎高校剣道部の益々のご発展を祈願しております。



KIZUNA 角岡 大悟(96期)

顧間に感謝

私は前述の斎藤君と同期です。最も思い出深いことは2年時と3年時に関東大会に出場したことです。関東大会では予選リーグを突破することができませんでしたが、2年時の日本武道館の光景は今でも鮮明に思い出すことができます。

次に思い出深いことは、顧問をしてくださった栗原先生のことです。栗原先生は私達の学年を1年時から担任されていて、私達の学年の中で一番有名な先生でした。先生の経歴や授業での発言は非常にユニークで、同級生との会話の中には常に栗原先生が登場していました。2年時には担任をしていただき、生活面や進路面でお世話になりました。3年間で色々な出来事がありましたが、特に思い

出に残っていることが2つあります。1つ目は夏の補講で栗原先生のマンツーマン授業を受けたことです。受講生は10数名いたのですが、なぜか私以外誰も来ない日があり、ただけのためにいつも通りの感じで授業をしてくださいました。あの緊張感のある1時間は忘れられません。2つ目は、山梨遠征からの帰りのことです。栗原先生が遠征メンバーを乗せて山梨まで連れて行ってくださったのですが、山梨からの帰り道、急に車がフラフラするようになったのです。先生に突然睡魔が襲ってきたようでした。すると先生はすぐにコンビニに立ち寄り、コーヒーを飲み、体操をして、氷を入れたタオルを頭に巻き、目薬をさして気合いを入れて運転席に戻ったのです。おかげで無事に帰宅することができましたが、顧問の先生って大変だなと思ったことを記憶しています。

栗原先生は剣道が強かったわけではありません。しかし、毎日防具をつけて私達と一緒に練習をしてくださいました。私達が成長する上で大切なことだったと思います。もう栗原先生にお会いしてお礼を伝えることはできませんが、同期の皆が栗原先生に感謝していると思います。本当にありがとうございました。



誰もが、「いい大学」に入って、「いい企業」に就職して、順風満帆な「いい人生」を送りたいと考えるだろう。でも「いい企業 = 一流・有名・大企業」は違うと思うし、「いい人生 = 他人が羨む暮らし」ではなくて、「いい人生は自分らしい生き様」だと思う。夢を追うのも、何かに挑戦するのも格好いい。”Fighting Spirit”こそ翠巒健児の”MY WEY”

特別 群馬版下町ロケット

株式会社山岸製作所 専務取締役 山岸 祐二（水泳部・79期）



1987年3月、私は大阪府門真市にある松下電器産業中央研究所で、パソコンを始めとした事務機器の開発を行っておりました。「IT産業を発展させ、世界中の人々を笑顔にする」と言う夢・目標の為に仲間と共に頑張っておりました。そんなある日突然上司から呼び出され、「山岸すぐに群馬へ帰れ。お母さんが大変な事になっている。一週間は帰ってこなくて良い」と。私は慌てて群馬に戻り病院に向かうと、やつれた顔の母がいました。過労が原因で倒れたそうです。病状は回復に向か

い数日で退院できるとの事でしたが、一週間の滞在予定でしたので残りの数日、家の仕事を手伝う事にしました。すると会



ニードルベアリング保持器を生産する浜川工場

社の中はガタガタ。倒産寸前の酷い状態でした。大阪に戻る道中、「自分は何の為に働いているのだろう」との疑問が生じ、結果的に「世の中の人々を幸せにする前に家族だろう」という思いに至り山岸に戻る決心をしました。27歳春の事です。因みに松下電器に居ようが山岸製作所に居ようが、夢・目標を実現するには何処で



半導体製造装置や航空機の部品を生産する八幡工場も一緒だと言う信念が在ったのも事実です。しかしながら当時の山岸は家族を含めても10人の会社で、社長である親父を含めて皆仕事中でも咥えタバコするなど、所謂典型的な町工場でした。「これはまず基盤作りが先だな」と思い、作業着の定着やチャイムの設置など基本的なルール作りから着手しました。また会社の形態が親会社から仕事を貰い、それに応えてゆくといった下請け企業であったので、「どうせならNASAから技術を必要とされる超下請け工場になってやろう。そし

ていつか山岸独自の技術やサービスでお客さんに貢献できる企業になろう」と決意しました。それを社員全員の前で公表したら「我々には無理です」の一言。よくよく聞いてみると自信がない事が原因での発言でした。それではと、現社長である兄と二人で技術と心を育成する社員教育を徹底しました。それに伴い仕事内容も徐々に高度化し、現在の礎である自動車やロボットに使われるニードルベアリング保持器や、半導体製造装置部品などを製作できる高精度加工技術が確立でき、社員数も20人・30人と徐々に増えてきました。ところが2009年75人位になった時、リーマンショックに見舞われ、一時は単月売り上げが8割ダウンになってしましましたが、この時も社員全員で教育訓練を実施。初めて国からの補助金という支援を頂いた事もあり、75人全員欠け

る事無くこの難局を乗り切る事が出来ました。その後更に航空機産業に進出しようと、航空宇宙・防衛に特化した品質マネジメントシステム、JISQ9100を認証取得しました。これを立ち上げたH君は、高崎高校水泳部の恩師、丸山先生からご紹介頂いた普通高校出の社員で、現在50数名を率いる八幡工場のリーダーとなっています。ここにきてやっと30年位前から皆に語っていた、NASAから必要とされる会社になろうと言う事が少しずつ現実味を帯びてきたと思います。現在の私は、世界中の航空機産業に通用する様、非破壊検査の国際規格である、NAS410適合のレベル2を取得。最終段階であるレベル3を目指して勉強中です。今年62歳になりますが、今後も「世界中の人々を笑顔する」という夢・目標に向かって邁進する所存です。

特別編 別集 俳句の世界

葛生 淳一 (ラグビー部・87期)



87期卒業、ラグビー部OBの葛生淳一と申します。早いもので卒業後35年が経ちました。大田部会長からの依頼ゆえ、ラグビー部時代の関係性を鑑みて断るわけにもいかず筆を執る運びとなりました。

高校時代、ひたすらにラグビーに明け暮れてスクラムが強くなることだけを願つておりました。その結果、入学時から体重は20kg増加して堂々たるプロップになることができました。

チームとしても相当強かったと思うのですが残念ながら全国大会には出場かないませんでした。さらには極度の学業不振が祟り浪人生活を余儀なくされてしまい、これを機にラグビーから縁遠い生活となり現在に至ります。

浪人後に進学し専攻したのは国文学でしたが時代はまさにバブル景気の真っただ中、遊び散らしてまともに学んだ記憶はないままに卒業しました。

結局何も身につかなかった国文学でしたが、卒業後二十五年を経て若き自分の怠惰ぶりを反省することになります。それはまさかの俳句でした。

俳句は近年テレビ番組の影響もあり、

空前のブームが起こっています。簡単にできそうなところも要因となっているのでしょうか。わたしもたまたま手にした入門書をきっかけに、俳句を始めることになったのです。

いざ始めてみると俳句はなかなか面白く、すぐに夢中になりました。なんとなく作るのは簡単ですが、ちょっと本気で取り組むとなると文法であったり歴史であったりと突き詰める部分が多く苦労します。まさに学生時代の後悔がこの点でした。大学受験用の古文文法の参考書を買おう羽目になったほどです。

そんな中、高校生による「俳句甲子園」というイベントがあることを知ります。1チーム5人の対戦形式で各々が作った俳句をディベートにより競い合うというもので、全国大会は毎年俳都・松山で行われます。前橋で行われるこの大会の予選に高崎高校が出場することを知り、観戦に行ったのが5年前です。参加4チームのリーグ戦形式でしたが残念ながら敗退、お節介かとも思ったのですがすぐに俳句コーチを申し出、就任することとなったのです。

それからは週に一度の講座に赴き、文藝部の生徒たちもラグビー部OBの指導に懸命に応えてくれました。就任1年後の俳句甲子園予選、この年は新型コロナウイルス流行を受けて書類選考のみとなりましたがこれを見事に突破して初の全国大会出場を果たしたのです。常連校が多い大会の性質からこの初出場は注目され、NHK松山放送局による番組にも取り上げられ全国放送されました。

以来、昨年まで3年連続で全国大会出場を果たしています。部内での知識の継承は着実に行われており、もはやわたしの指導は不要となっています。コーチを務めた文藝部の活躍は嬉しい限りですが、OBとしてラグビー部の全国大会出場も願ってやみません。紙数も尽きましたのでこのあたりで。



2022事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

- 4 7日 ● 第1回役員会議(翠巣会館)
- 12日 ● 第1回編集会議(翠巣会館)
- 5 26日 ● 関東大会出場祝金贈呈
ソフトテニス、陸上、柔道、
相撲、バレー(高崎高校)
- 6 7日 ● 第2回編集会議
(アートマルシェ)
- 13日 ● 監査役会
(肉割烹 蕉)
- 15日 ● 第2回役員会議
(ホワイトイン)
- 23日 ● 第48回定期総会
(グランビューカントリー高崎)
- 23日 ● 翠巣体育第41号発行
- 28日 ● 関東大会出場祝金贈呈
水泳部(高崎高校)
- 7 28日 ● 北関東大会出場祝金贈呈
軟式野球(高崎高校)
- 8
- 9 11日 ● 第32回ゴルフ大会
(サンコース72)
- 10 10日 ● 第23回高前OBゴルフ定期戦
(富岡カントリー倶楽部)
- 11 9日 ● 高崎高校マラソン大会
優秀者表彰(高崎高校)
- 12 5日 ● 翠巣体育会忘年会
(グランビューカントリー高崎)
- 1 1日 ● 高崎高校卒業式(高崎高校)



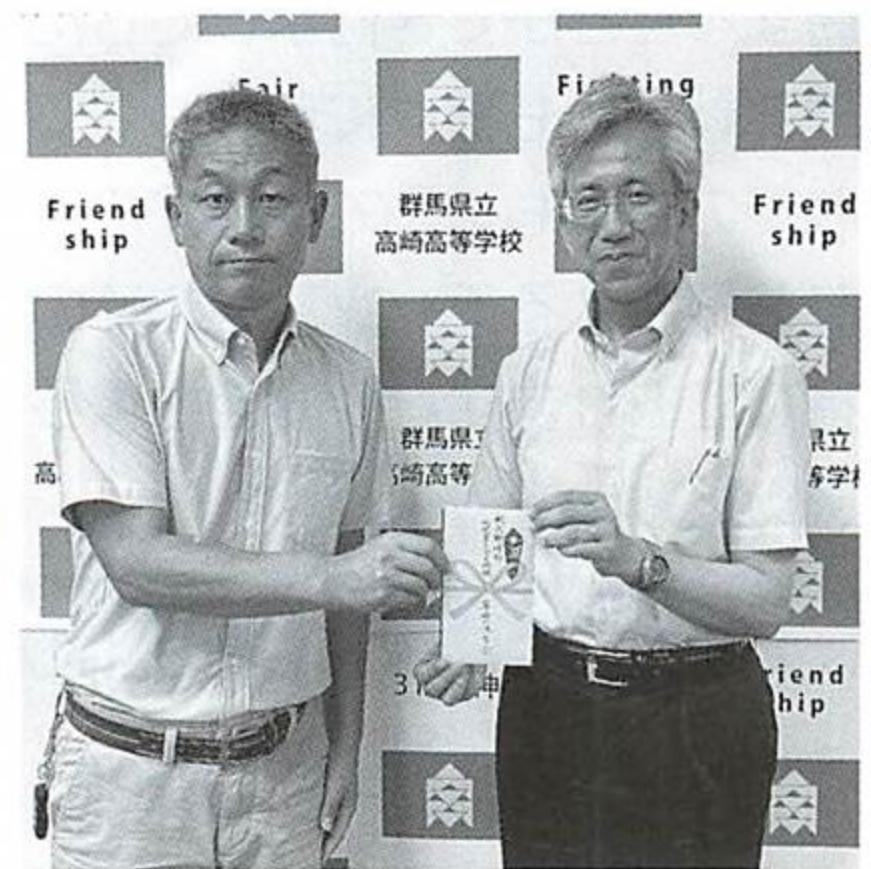
● 関東大会祝金贈呈



● マラソン大会 優秀者表彰



● 総会、懇親会



● 北関東大会祝金贈呈



● 忘年会



● 第二回役員会議

第48回翠巣体育会定期総会

ラグビー部／井野 周平(91期)

第48回翠巣体育会定期総会・懇親会は令和4年6月23日19時よりグランビューカントリー高崎にて行われました。当初役員会において各部1名の参加という事でしたが、新型コロナ感染症の流行が落ち着いていた事を鑑み、改めて役員会にて協議し、各部2～3名の参加で行う事となりました。直接会って懇親を深めながらの定期総会・懇親会は実に3年ぶりということで非常に盛り上がる会となりました。

参加された方々は各自情報交換しながらの会となり、最後は例年通り、各部の現状報告を行い、校歌と応援歌翠巣を肩を組まない形で歌って散会となりました。

今年は5月8日より新型コロナ感染症

も2類から5類となりますので、規制がなくなり各部の皆さんも集まりやすくなると思います。現役を支えつつ新型コロナ感染症で少し停滞してしまった翠巣体育会を改めて盛り上げていきましょう。

第32回ゴルフ大会 団体戦優勝

硬式野球部／川手 和義(93期)

93期の川手和義と申します。この度は翠巣体育ゴルフ大会に参加させていただき、ありがとうございました。またコロナ禍の中での開催にご尽力いただきました関係者の皆様方、サンコースカントリー



群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市白石1444
〒375-0055 TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
〒370-2111 TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail:onuki@guncera.co.jp
<https://www.guncera.co.jp/>



株式会社 山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスペート

専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 TEL:027-360-4100

八幡工場 高崎市剣崎町21-1 TEL:027-387-0505

ユーチューブ動画 ワレワレハ自給人ダ

チャンネル名

「新藤洋一農筆同源」

(水泳部 81期)



クラブ様にも重ねて感謝申し上げます。今日は諸先輩、後輩たちのおかげで、個人、団体ともに硬式野球部が優勝することができました。わたし自身はあまり貢献できていませんが、この翠巒体育ゴルフコンペにはゴルフ好きとして、毎年のように参加させていただいている。普段はあまり意識することがない、高崎高校、野球部OBということを思い出す貴重な機会かなと感じています。そのため少しは貢献しなくてはというプレッシャーもありますが(笑)、何とか団体優勝することができ何よりでした。硬式野球部参加者も徐々に若返りして、上手な若手の参加も増えていますので、次回以降も優勝するチャンスがあるので期待しております。今後ともよろしくお願いいたします。

●第32回ゴルフ大会 個人優勝

硬式野球部／川手 義昭(62期)

62期野球部の川手義昭と申します。団体戦野球部優勝と共に思いがけず個人戦まで優勝し当日は二重の喜びとなりました。八十歳に近くなり年々下手になつた今では翠巒体育ゴルフ大会の様な上手な人も多い大きな大会で優勝出来るのは考えておりませんでした。当日の同伴競技者でありました野球部江原君、堀越君、サッカーチーム渡辺さんには何かとご面倒をお掛けし大変お世話になり、お陰様で優勝出来ました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。懐かしい先輩(自

●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	硬式野球	338	34.8	303.2
2	陸上競技	344	42.0	302.0
3	ラグビー	348	52.8	295.2
4	山岳	366	60.0	306.0
5	剣道	389	81.6	307.4

●ネット個人戦

順位	氏名／運動部名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
1	川手義昭(野)	-	44	44	8.4	35.6
2	井野周平(陸)	-	42	42	6.0	36.0
3	大田部功(陸)	-	41	41	4.8	36.2
4	甲斐俊輔(陸)	-	40	40	3.6	36.4
5	横田裕正(スギ)	-	40	40	3.6	36.4

製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀬 憲昭 同窓会副会長
高崎市上豊岡町560-10 TEL027-343-1325(代) FAX(027)343-9569

分の上の方は少なくなりましたが(笑)、後輩にお会い出来る本大会を毎年楽しみにしております。今後も出来る限り参加させ頂きますので宜しくお願ひ致します。翠巒体育会と共に母校の発展をご祈念申し上げ、御礼とさせて頂きます。有難う御座いました。

翠巒体育会忘年会

柔道部／伊藤 俊一郎(92期)

2019年末頃から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響により翠巒体育会各部の活動は自粛や縮小傾向にありました。2022年の年末に向かう中で、ようやく社会の行動制限が緩和される方向に状況変化してきました。そこで、翠巒体育会も再活性化を図るため、2022年12月5日(月)午後7時からホテルグランビューハイアット高崎にて、新型コロナウイルス感染拡大防止に十分に留意しつつ、翠巒体育会忘年会が開催されることとなりました。

各部あたり3人を目安に出席が呼びかけられ、部によって出席人数に若干の増減があったものの、15部から約50人が参加しました。開会のあいさつにて、大田部功 会長は「出席してもらえるか心配だった。つながりの輪を大切にしていきたい。」と述べられました。また、この忘年会の約1か月半後にあたる2023年1月28日(土)に行われる第121回高崎中学校・高崎高校同窓会の幹事である92期より、横田裕正 代表幹事(スキーチーム)、戸澤健 実行委員長(硬式野球部)の2名から、同窓会開催の案内と準備状況の説明が行われました。

懇親が開始してからは、学校の状況報告や各部からの報告が順次行われ、参加者は終始和やかで楽しい交流の時間を過ごすことができました。

高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会会長 パレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/

■令和4年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

科 目	金 額	摘 要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	315,000	15部
親睦会収入	185,000	令和4年6月23日 ホテルグランビューハイアット
ゴルフ大会収入	166,000	令和4年9月11日 サンヨーカントリークラブ
翠巒体育会忘年会収入	235,000	令和4年12月5日 ホテルグランビューハイアット
雑 収 入	160,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金会議個人負担、寄付金等 群馬銀行
受取利息	5	
(当期収入合計)	(1,736,005)	
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	721,614	
収入の部合計	2,457,619	

科 目	金 額	摘 要
支出の部		
総会・親睦会費	257,400	令和4年6月23日 ホテルグランビューハイアット
現役等補助金	192,300	関東大会、インターハイ等出場の運動部、マラソン大会
会報発行費	426,800	「翠巒体育」第41号
ゴルフコンペ費	111,202	令和4年9月11日 サンヨーカントリークラブ
翠巒体育会忘年会費	315,300	令和4年12月5日 ホテルグランビューハイアット
慶弔見舞金	25,000	生花等
事務用品・通信費	210,000	ホームページ管理費等
会議運営費	235,170	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	990	群馬銀行
(当期支出合計)	(1,774,162)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	1,774,162	
(収支差額)	(△38,157)	(当期収入合計) -(当期支出合計)
次期繰越収支差額	683,457	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 (令和5年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
現 金	43,415	現金手許有高
預 金	640,042	群馬銀行高崎栄町 (普)#0783238 一般会計分
正 味 財 産	683,457	

特別会計 (令和5年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
普通預金	801,533	群馬銀行高崎西 (普)#0593363 特別会計分
特別会計財産	801,533	

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 パレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高関町316-6

TEL(027)323-5988 FAX(027)323-5858

OB

各運動部OB会の近況報告



陸上競技部

茂原 賢三
(89期)

前年の令和4年度『翠巒体育第41号』において、本稿では「昨今では我が国でもあらゆる方面で「with コロナ」に舵をきった動向が見られるようになってきました。おそらく甲斐俊輔OB会長(87期)が本年度の活動について、妙案を練っていられることと思われます」と執筆いたしました。この文面通り、甲斐会長はコロナ以前の陸上競技部OB会活動と同様以上の活動を目指して取り組んでこられました。その結果、昨年8月6日(土)には3年ぶりにOB会の総会及び懇親会の開催にこぎつけられるところまで準備をすすめました。しかし、まさかのまさか、不遇にも時期に、いわゆる“コロナ第7波”に見舞われてしまい、直前でOB会総会及び懇親会の開催を断念せざるを得なくなってしまい、直近2年間と同様に書面による総会開催となってしまいました。したがって、昨年度の陸上競技部OB会の活動は、直近2年間と同様にコロナ禍の影響に逆らうことは出来ずに、紙面による総会と現役卒業生(&新会員)への記念品(OB会オリジナルネクタイ)の贈呈は実施できたものの、OB会総会・懇親会や現役部員への大会応援・激励等の、コロナ禍以前に実施してきた活動は出来ずじまいがありました。編集委員の私自身にとっても、直近2年間に引き続き『翠巒体育』会報の原稿に寄せるネタ探しに大変苦慮いたしました。

しかし、令和5年度はご案内の通り新型コロナウイルス感染症が、感染症法上において第2類から第5類に移行されることになり、社会全体も「with コロナ」ではなく「ポスト コロナ」もしくは「アフタ コロナ」に変わっていくことになります。「新しい生活様式」という言葉もだいぶ言い古された感もありますが、OBの皆さんで協力して、コロナ禍以前の活動を今一度精査して、新たなOB会活動を考え取り組んでいけるとよろしいかと思われます。そのためにも若手のOBの皆さん、とりわけ100期以降の方々には強力にご協力を願いしたいと考えています(これはOB会役員としての依頼だけではなく、元陸上競技部顧問教諭から、教え子の皆さんへの“指導”もありますよ!)。



スキー・スケート部
寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

コロナ禍の方、まだ続いておりますが、社会、経済活動は正常化の方に舵を切っております。

毎年、十一月に高崎市内で行っていたOB総会、懇親会ですが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で誠に残念ながら中止

となりました。

総会、懇親会で旧交を温めるのを楽しみにしているOBも多い中、実に三年間、総会、懇親会を開催出来ないという何とも寂しい状態が続いてしまいました。

また、集まりたいね……こういう声も、OBの中で日増しに強まっています。

さて、今年に関しては社会、経済活動が正常化しつつある現状を鑑みて、冬のOB総会、懇親会を実に四年ぶりに開催できるのではないかと思います。

現役の部員ですが、ここ数年間、ごく少数の部員、という状況が続いており、あるいは部員がいないという時もありました。

本年度は、スキー一名、スノーボード一名の現役部員がいると聞いております。

これまでOBの皆様におかれましては、現役部員の支援のため、沢山のお力を借りて参りました。

ウィンタースポーツ、特にスキーはお金がかかるスポーツです。そのような方面でOBの皆様にご支援をいただき、現役生の力になってきたのではないかと思っております。

スキー・スケート部がより魅力的な部になるよう、これからもスキー・スケート部OB会としましては現役の部員たちへの支援を行っていきたいと考えております。

また、少しでも多くの入部者があるよう、知恵を絞ってゆきたいと思っております。

本年こそは、冬の懇親会で旧交を温めつつ、そのような方策を存分に語り合えたらと考えております。

OBの皆様、関係者の皆様のご健勝をお祈りしております。

スキー・スケート部OB会の方、どうぞこれからも宜しくお願ひいたします。



新型コロナ感染症禍から徐々に活気を取り戻しつつある中、我々野球部OB会の活動も活発になってきています。

活動は主に三つ。まずはOBによる野球チーム「翠巒クラブ」の活動です。2010年の活動開始以来、14年目のシーズンを迎えるました。73期の中村康晴先輩を筆頭に100期の鈴木修司君・田野晃彦君まで、実に年齢差27歳、総勢30名以上が所属するOBチームです。かつて母校で監督を務められた、76期小林俊之先輩、78期鈴木弘康先輩も所属。両監督に指導を受けた84期から97期のメンバーも数多くおり、当時の〇〇ノックを思い出しつつ、県大会出場・上位進出を目指して現役高校生同様に白球を追いかけています。昨シーズンは壮年・熟年ともに県大会への出場は成りませんでしたが、今シーズンは地元紙面を賑やかしたいと思っています。

次に「マスターズ甲子園」。県内の高校野球OBによる「群馬県



GUNKYO

株式会社 群協製作所

代表取締役社長 遠山 昇(サッカー部 79期)
専務取締役 遠山 雄彦(バレー部 84期)

<http://gunkyo.co.jp>

めまい・補聴器・アレルギー・各種臼帰り手術
清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二 (サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30
●休診日 日祝祭日・木曜日終日・土曜日午後
高崎市京町321-4 ☎027-353-4533
<http://www.shmz-ent.com/>

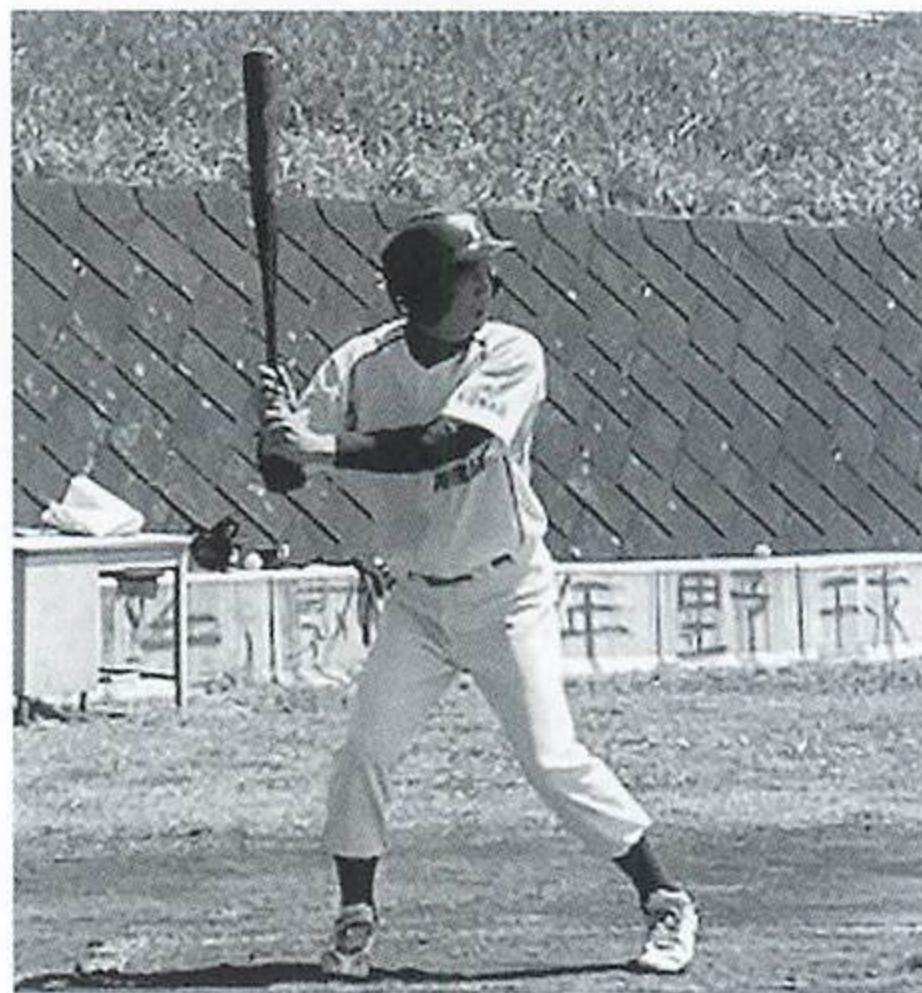


社会福祉法人 愛善会

はなだか
かみたき
鼻高こども園 上滝こども園

國峯 善次郎(50期) 國峯 賢一(74期) 國峯 義仁(106期)
(サッカー部) (サッカー部) (和太鼓部)

高校野球OB大会』(マスターズ甲子園の県予選)も例年通り5月の連休に開幕しました。この大会は群馬県高校野球OB連盟によって運営されますが、今年度より、76期高田勉先輩が連盟会長を務められます。大会には毎年多くのOBが集結。昨年(2022年度)は一回戦シードとなり二回戦からの戦いでしたが、残念ながら0-1で沼田高校に敗れてしまいました。今年(2023年度)は大学一年生の参加も予定されています。さらなるOBの参加で、「いつかは甲子園」に行きたいところです。現役生の夏の甲子園とどちらが先でしょうか。



いと思います。そして、こちらも3年間自粛されていた「祝勝会」で校歌と翠巒を共に歌いましょう。

硬式野球部OB会はホームページ

<http://takataka-baseballlob.com/>

を立ち上げています。現役生の大会日程やマスターズ甲子園大会の日程などを掲載しています。是非とも覗いていただき、現役生の応援やOB会の活動に参加していただければ幸いです。

最後に「現役世代の応援」です。コロナ禍での入場制限も今春解禁され、球場には多くの観客が戻ってきました。スタンドでの声出し応援も解禁されており、校歌や翠巒が球場にこだましています。多くのOBに球場へ駆けつけて頂き、後輩へ強力なエネルギーを送っていただきました。

せながら準備を進めており、詳細が決まり次第改めて通知申し上げますので、その際はOB諸兄にご参加いただければ幸いです。なお、連絡先が更新されていないケースが散見されるため、情報が行き届かない場合もありますが、多くのOBに開催計画をお伝えできるように努めてまいります。

結びに、本稿をご覧になっているOB諸兄の引き続きのご支援ご指導をよろしくお願ひいたします。

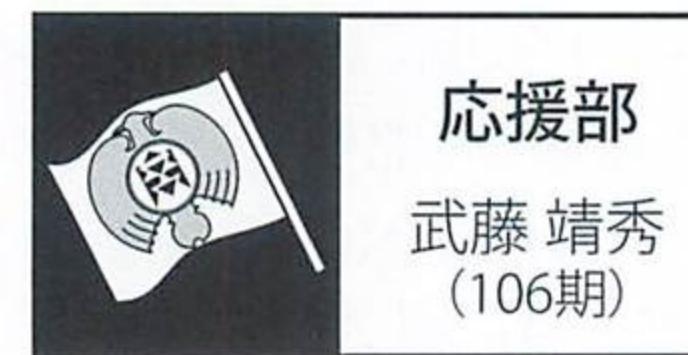


山岳部
吉井 章一
(78期)

昨年度は新型コロナウィルスの影響で現役生との交流の機会は全くありませんでした。一昨年も同じことでしたので3年間このような状況が続いております。

例年の活動は翠巒祭の期間中に会合を持ち、さらに夏合宿前には差し入れという形で現役生と交流を継続しておりました。しかしながらこの3年間接点がなかったということで、この春に卒業した生徒とは一度も顔を合わせなかつたこととなります。OB会という組織の存在自体を伝える機会を失ってしまったことに忸怩たる思いを抱いております。

一方、OB会主催の山行といったものはないので、気の合う仲間と個人的に山登りをしております。昨年は同期の3人で谷川岳に登ってみました。ロープウェイを利用して天神平スキー場からの往復でしたが、一般向け日帰りコースとしてよく利用されております。梅雨明けで、多くの登山者が訪れ列をなすほどの盛況ぶりでした。



応援部
武藤 靖秀
(106期)

今年も新入生が入部し、高崎高校応援部は計8名を擁することになりました。

ここ数年的情勢は、特に大声で



バスケットボール部
塚本 浩史
(99期)

日頃より、OB諸兄をはじめとする関係各位には大変お世話になっております。私たちは例年、現役の部員たちをサポートするために

様々な活動を行っております。新型コロナウィルスの感染拡大で

十分な活動ができませんでしたが、パンデミックも終息に向かいつつあることから、活動をより活発にしていきたいと考えています。

その流れの中で、今年も毎年元日に開催されている現役とOBとの交流戦を行いました。参加いただいたOBのみならず、現役生のご家族の方々にもご協力いただき、引き続き開催できまし



たことに感謝申し上げます。幅広い世代のOBに参加いただきたいので、これまで機会がなかったOBにも、今後足をお運び頂けましたら幸いです。

また、今年は7月にOB総会の開催を計画しております。実地での開催は久しぶりであり、いろいろ試案を巡ら



選手に声援を送り、舞台上で生徒らに檄を飛ばすことを活動内容とする應援部にとって、極めて厳しいものだったといえます。そんな制限下にあっても、現役部員たちはひたむきに努力を積み重ね、限られた機会に精一杯の取り組みをみせており、彼らを支援するOB会にとっては、なんとも歯がゆい期間が続いていました。

しかしどうやら情勢は好転の兆しを見せてきており、今年はOB会として現役生を支援するイベントを複数行うことができました。

ひとつ目のイベントは、今年の三月に開催した春合宿です。卒業生に対して現役生が演舞を披露し、最後の型指導を受ける定例イベントでしたが、合宿が困難な情勢下では規模を縮小せざるを得ず、OB会としてもなかなか直接の支援ができなかったものです。

冬から新たに加入了した下級生も、立派にバック隊を務めており、新年度以降の高崎高校應援部の大躍進を予感させるものでした。卒業生たちも、きっと不安なく母校を去ることができたことでしょう。

もうひとつのイベントは、今年の四月に開催した東京六大学野球応援観戦です。こちらも以前は定期的に開催していたものですが、やはりなかなか実施に踏み切ることができずにいたものでした。

東京六大学野球応援においても、ようやく声援や齊唱などが解禁され、現役生らに日本トップクラスの応援スタイルのひとつをみせることができました。私個人としても、ずいぶん久しぶりの声援をあげての野球応援に、非常に感慨深いものがありました。現役生もみな、それぞれに感じたことがあったようで、今後の活動に活かしてくれることと思います。

今年度も新たに新入生を迎え、いよいよ高崎高校應援部は跳躍の機会を迎えようとしています。OB会としては、今後も様々な支援を行い、彼らの活動を後押ししていきたいと思っています。



ラグビー部
芳賀 弘幸
(81期)

います。

昨年度は、コロナもだいぶ落ち着いてきたため停滞していたOB会活動を少しずつ再開することができました。1月には、「新年総会」を再開することができました。コロナ前は「OB戦」も行っていましたが、「OB戦」ではなく、いろいろな人が参加できるように「タッチフット(タックルの代わりにタッチをする練習形態です。)」大会を行いました。現役生も含め、小学生から60歳近いOBがともにゲームを楽しむことができました。

また、3月には、これもまたコロナで自粛していた「ラグビー祭」を再開することができました。現役・若手OBの合同セッションやタッチフット、bingo大会やオークションを計画しました。ところが、当日、残念ながら天候が悪く、グランドでの活動は中止せざるをえませんでした。ですが、翠巣会館で行った、bingo大会やオークションには、現役生はもちろん、現役生の保護者、OBがたくさん集まり楽しい時間を過ごすことができました。

そして、もう6年目になりますが、12月にラグビー部OB会主管で1年生の体育の授業においてラグビーの体験授業を行いました。たくさんのOBが授業に参加してくれました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい体育での冬のラグビーが授業で復活できるよう、ラグビー部OB会は高々のラグビー授業にも積極的に関わっていきたいと思っています。

これからも高々ラグビー部がさらに躍進できるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたいと思っています。



テニス部
北村 真行
(85期)

3年余にわたるコロナ禍というトンネルによりようやく出口が見え始め、社会活動も平常運転の兆しが見えてきました。テニス部OB会の活

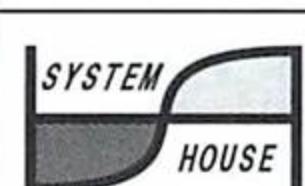
動の中心であるOB総会・懇親会も今夏は4年ぶりに再開する予

株式会社 シビル設計

CIVIL Design office Co., Ltd

代表取締役 根岸博昭(卓球部67期)

高崎市石原町1753-33 TEL027-324-1456



株式会社
システムハウス

代表取締役 堤 康高(卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B
TEL. 027-327-8451 FAX. 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>

文武両道・3F精神 全開!
がんばれ、卓球部

卓球部OB会一同



2022年8月12日現役部員に練習ボール贈呈、高崎高校にて

定で準備を始めたいと考えています。日程は2023年8月12日(土)、高崎高校のコートにて現役部員との交流試合、夜は総会・懇親会を予定しています。交流試合は例年からするとまさに「灼熱地獄」の中でのテニスになることが予想されます。熱中症と怪我だけには気をつけて楽しく打ち会えればと思います。『高崎高校テニス部OB会』のホームページ(<https://ttob.web.fc2.com/>)にも予定を記載しますので、まだ参加されたことのないOB諸兄も是非気兼ねなく参加していただければと思っています。3年間の空白を埋めてなおあまりある盛会になるよう願っています。

さて、前述しましたが2020、2021年度および昨年度も交流試合・OB総会・懇親会は中止でした。数年に渡り現役部員と交流が持てなかったことを憂慮し、昨年は夏に高崎高校のコートにお邪魔して僅かばかり支援ではありましたが練習用ボール2ケースを贈呈しました。今後もOB会として現役部員への応援につながることを検討し、実行したいと考えています。また、在郷OBによる毎週日曜日の定期練習は現在も吉井運動公園運動場のハードコートで継続しています。こちらも年代に関わらずOBの皆さんのが飛び入り参加は大歓迎です。

OB総会の再開を契機に更なる交流と活動の輪が広がるよう願うばかりです。



水泳部
島崎秀明
(77期)

高崎水泳部OB会が発足し早4年が経ちました。しかしながらこの3年間はコロナ禍により満足のいくOB会活動をすることが出来ませんでしたが、昨年はOB会発足時以来となる総会を無事開催することができました。これは幹事の皆が『安全対策を施し総会は絶対にやろう』という力強い合言葉の下、OB諸兄に協力を仰いだ結果だと思っています。

当日は、高崎市内のホテルに14の出席があり、商社マンとして長らく世界を舞台に活躍していましたWさんを始め、先輩諸氏からユーモアの溢れたスピーチを頂くなど大いに盛り上りました。

また、この総会を契機に初のOB会ゴルフコンペを出来的事は

テニス部OB(84期)

山口正仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!
ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社
TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

芸大美大美術系高校受験予備校

高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548

<http://www.art-takabi.com>

社会人のための美術教室

アートフォーラム高崎

高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585

<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)

テニス部OB(91期)

原 寛

カネト水産 つりぼり・虹鱈料理・手打ちそば
高崎市倉渕町川浦3900-156 TEL.027-378-3132
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



嬉しい限りです。

対現役生につきましては、コロナ禍においても継続していたネクタイ贈呈を、今年も卒業を控えた3名に行う事が出来、卒業後のOB会入会を快諾して頂きました。

今年度は、長らく中止を余儀なくされたOB会最大イベントである『現役生を励ます会(焼肉パーティ)』を復活させ、現役生との交流を深めると同時に新企画も取り入れてOB会を盛り上げていく所存です。



サッカーチーム
佐藤 雄一
(97期)

サッカーチームのOB会は、40歳以上を対象とした「翠龍ミドルFC」、さらに50歳以上を対象とした「翠龍FC50」といったサッカーチームを運営し、生涯スポーツ機会の提供と会員相互の交流を図っています。特に、翠龍ミドルFCは、昨シーズンにシニア2部リーグで見事準優勝となり、今シーズン1部リーグに昇格し、強豪チームと凌ぎを削っています。

また、コロナ前には「初蹴り会」「新年会」「前橋高校サッカーチームOB会交流戦」等の実施により、会員相互はもちろんのこと、現役生との交流も図ってきました。今年の1月2日には、3年振りに和田橋グランドにて初蹴り会を開催したところ、若手を中心に多くの参加者があり、あらためてサッカーを通じた交流機会へのニーズを実感したところです。

最後に、平成26年度からの9年間に渡り、サッカーチーム顧問としてご尽力頂いたOBでもある吉田卓弥先生がこの度異動になられ、後任には前橋高校サッカーチームの顧問であった笠原宗太先生が着任されました。OB会として、吉田先生の多大なご貢献にあらためて敬意を表するとともに、今後は笠原先生とともにサッカーチームの活動を盛り上げていければと思います。





剣道部
瀧野 修司
(86期)

今年も、剣道部OB会の例年行っている活動が新型コロナウィルスによって大きな影響を受けました。夏・春の合宿や遠征が中止のため、それに伴って行っている援助ができなくなったり、1月3日に行っているOB稽古会と総会・新年会についても開催できなくなったりしました。

我々OBとしてできることが限られる中、昨年同様に部活動中止や対外試合中止の合間に縫う形で、中学教員で剣道部顧問のOBが勤務校の剣道部員とともに高崎高校に練習に出向いて交流を行うことができました。

OBの活躍としては、飯野一彦先輩(74期)が昨年3月末に群馬工業高等専門学校を定年退職し、現在、独立行政法人国際協力機構(JICA)の海外協力隊員としてエルサルバドルに剣道指導に出向いていることを紹介いたします。エルサルバドルは治安が悪く、剣道の指導を通して青少年の健全育成も派遣目的に含まれており、剣道指導という草の根レベルの活動を通して、開発途上国の国造りの一端を担えたらとの思いで活動していることです。剣道の普及になかなかつながらない現状と慣れないスペイン語に格闘する日々の中でも、派遣の目的が達成されることを願ってやみません。

高校剣道部の活動も、顧問の木村先生と兵藤先生に熱心に指導していただいている。ようやく通常活動が行えることになってきたので、今後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



柔道部
伊藤 俊一郎
(92期)

2023年初は、新型コロナウィルス感染拡大防止に留意しつつ、昨年と同様、1月3日に現役・OBでの稽古始め、及びOB会新年会を行いました。

稽古始めは高崎高校柔道場で行い、鳥居吉二OB会長(73期)と田中利明監督(元顧問 2020年度から外部指導員)、学校から



川田智広先生(前副顧問 2022年度から顧問)、そして今回は大先輩の櫻井弘さん(56期 元OB会長)が見守る中、現役2名を含む、計27名が汗を流しました。稽古内容は、準備運動、摺り上げ腕立て伏せ60回、回転運動を行い、寝技打ち込み、寝技乱取り1分30秒×15本、立技打ち込み、立技乱取り3分×5本×2セットと進み、その後は例年行われる現役・OB対抗戦を変更して、さらに立技乱取り2分×7本を行いました。体が温まるに連れて現役・OBともに動きが良くなり、また、インターバル中は久々に再会したOB同士がマスク越しに笑顔で和む様子も見られ、怪我などのトラブルもなく、無事に稽古始めを終えることができました。

新年会は、今回は元OB会長の櫻井さんを発起人代表として、コロナ禍で今まで行なうことが出来なかった鳥居OB会長の群馬県柔道連盟会長(令和3年4月より)の就任祝いを兼ねる形で、会場をホテルグランビュー高崎にてOB25人の参加により行いました。参加者は節度とマナーを守りつつ、互いの近況を報告し合うなど、高々柔道部の先輩・後輩の温かいつながりの時間を楽しみました。

卓球部
高橋 秀仁
(107期)

OB諸兄及び関係者の皆様には、日頃から大変お世話になっております。107期の高橋です。自分からは第36号(2007年)以来の活動報告です。

今回、活動報告を作成するに当たり、令和4年度高校総体の結果を見てみました。団体では5位、ダブルスではベスト16、シングルスではベスト32ととても健闘しており、OBとして誇らしく感じました。今後も引き続き頑張ってもらいたいと陰ながら応援しております。

さて、卓球部のOB会は夏と冬の年に2回、現役生との交流試合を行っています。交流試合は、最初にリーグ戦を行い、その後リーグ戦の順位ごとに順位決定トーナメントを行います。最低でも4戦程度は試合ができます。また、その日の夕方に懇親会を行い、OB同士の親睦を深めております。

私自身は、OB会の活動にそれなりに参加経験があります。そこで感じていること等を述べてみます。これを読んで卓球部のOB会の参加のきっかけとしてもらえばと思います。

現在の卓球部OB会の状況についてです。若手が少しずつで



ライズ総合保険
AD Flagship partner 高崎

有限会社富田総合保険プランナーズ

代表取締役 富田 和 弘 (応援部OB 85期)
武山 雄 海 (バレーボールOB 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364

GSD
Global Solution Developer

ホームページ、WEBシステムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503号
TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667
URL: <http://www.g-s-d.net> mail: h_sato@g-s-d.net

でっこい、未来のリーダーたち。
四谷大塚 NET

CEBU流学

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)

はあります、大学生や20~30代社会人がOB会に顔を出す人數が増えつつあります。以前に比べると若手OBが参加しやすい雰囲気になってきているのかなと感じています。卓球が上手でなくとも構いません、また地元に住んでいなくても構いません。若手OBのOB会参加を望んでおります。懇親会だけ出てみるとか、最近ゴルフ始めたからゴルフコンペだけ出てみたいとかでもOKです。

ここ3年はコロナ禍の影響で満足にOB会活動が行えず残念でした。しかしながら、ようやく新型コロナウイルス感染症の感染症法上の区分も5類に移行となり、社会経済活動が動き始めました。今年度は制限なしで、交流試合ができると良いなと思っております。

私自身も、ここ数年満足に卓球の練習が出来ていなかったので、交流試合をモチベーションとして久方ぶりに汗を流してみようと思います。



最近のバレーボール部の大きな出来事としては、昨年度末をもってOB会長をお務めになっていた原さん(78期)が退任し、新会長として波瀬さん(81期)が着任しました。

また、部活の顧問だった柴山先生(103期)が退任し、新顧問として砂川先生(111期)が着任しました。

原前会長・柴山先生ともに12年間という長きにわたりご尽力いただき、ありがとうございました。2回のインターハイ出場をはじめ数々の輝かしい戦績の中でも、東京開催であったインターハイで、大勢のOBの方々が駆け付け、現役生・保護者・OBが一丸となって応援出来た事が一番の想い出です。

新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会は、感染対策をした上で昼間の練習会のみ令和5年1月3日に行われました。今年も20代のOB参加者が多く、現役生や先輩後輩の近況報告を聞くことができました。

OBチームである翠巒クラブの活動は、現在も高崎市立群馬南中学校で毎週火曜日に練習を続けています。SNSなどでOBの垣根を越えて参加者を募集し、地域スポーツに貢献できるような活動しております。

現役生に対しては、波瀬会長と砂川先生(111期)と連携を取



りながら、現状に合った最善の支援を行えるように尽力して参ります。



ソフトテニス部
梅村 唯斗
(105期)

2022年8月6日(土)、35度を超える猛暑の中、高崎高校テニスコートにてOB・現役との親善試合が行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、現役との試合ができなかったのですが、今年度は、久しぶりにOBと現役による親善試合を行うことができました。例年通り幅広い世代のOBが参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。OBから現役へアドバイスを送る場面もたくさんあり、OBと現役との良い交流の場となりました。

事務局の仕事を務め始めて数年が経ちますが、年数を重ねるごとに、OB会による現役への支援がとても大きなものだったことをひしひしと感じております。同時に、私が務めている期間は新型コロナウイルスの流行期間と重なっており、今まで普通にできていた懇親会などができないことにもどかしさを感じています。今までの当たり前が、少しでも早く取り戻せることを祈っております。



《高崎高校運動部の活動報告》 先輩がんばってます



バレーボール部

前田 陸斗

我々バレーボール部は顧問の砂川先生、副顧問の平川先生のご指導のもと、3年生6人、2年生10人、1年生7人の計23人で活動しています。

昨年度は改修工事のため、第一十体育館を使うことができませんでした。なので、思うように練習ができない日々が続きましたが、保護者の皆さん、そしてなによりOBの方々の支えがあったからこそ、遠征や合宿に多く参加することができ、チームの強化に繋がったと思います。

先日行われた新人大会では、そのような支えのおかげで優勝することができました。今後もさらなる強化を求めて精進して参りますので、応援の程よろしくお願ひします。

SAN-ESU nanoclea PREMIUM DEO

サンエス工業株式会社

代表取締役 清水 威 (硬式野球部・85期)

本 社 高崎市下室田町1159-2 TEL.027-340-1581
高崎工場 高崎市町屋町710 FAX.027-340-1591

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001
認証取得

株式会社 研 屋

専務取締役 清水 正郎 (硬式野球部・75期)
本社／高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

硬式野球部OB ハワイウォーター

小林 均 (77期)

有限会社 小 金
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX 027-325-4445



応援部

清水 惺也

第漆拾壹代応援部主将を務めて居ります清水惺也で御座います。

4月の部結成にて、吾々応援部に新たに2名の1年生が参入いたしました。うち1人は昨年のオープンスクールにて、唯一応援部の見学にきた生徒でした。ここまで応援部に興味を持って入部する生徒は近年全く見たことがありません。続く第漆拾壹代目では期待の新参2名を加えて、今なお栄え続ける高崎高校の伝統を後世につなぐ第一人者として尽力して参ります。応援部が時代錯誤だと称される現代において、何故古き伝統を重んじ後世に残そうとするのか。それを真に理解し世間に伝えるため、今日も吾々は全力で応援を続けております。

高高健児よ、抱け。溢れんばかりの大望を。伝統よ更に栄えあれ。押忍。



陸上競技部

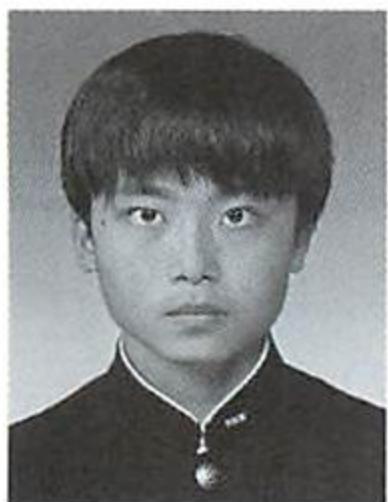
島田 祥太朗

陸上部は顧問の稻垣先生のご指導の下、3年生10名、2年生16名、1年生21名の計47名で日々練習に励んでいます。

今年度の高校総体では、一人でも多くの選手が関東大会・インターハイに出場し、入賞することを目標にしています。また、昨年度はリレー・駅伝で上位大会に進出することができなかったため、今年度はリレー・駅伝での上位大会出場を目標に練習しています。

高高陸上部は、全員が高い意識を持ち、チーム内で切磋琢磨し、個人・チームの力を高め、高い目標を達成するために練習をしています。

最後になりますが、日々支えていただいている先生方、OBの方々への感謝を忘れずに精進していきます。応援よろしくお願いします。



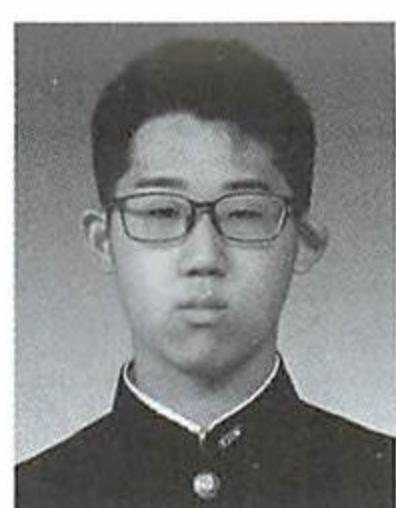
ソフトテニス部

星野 祥茉

ソフトテニス部は、3年生9人、2年生10人、1年生5人の計24人で活動しています。顧問の菊地先生、副顧問の小林先生のご指導の元、日々部活動に励んでいます。

ソフトテニス部は、毎年県上位の好成績を残していますが、近年インターハイ出場をのがしています。県内の強敵と競い合い、今年こそインターハイ出場を獲得するために、少ない練習時間を有効に使い、高高生らしい頭脳を使ったプレーで立ち向かいたいと思います。

最後に、顧問の先生方や保護者の方々、OBの方々の支えに感謝し、今一度兜の緒を締めて、これからの大大会に全力で取り組んでいきたいと思いますので、ご声援をよろしくお願いします。



剣道部

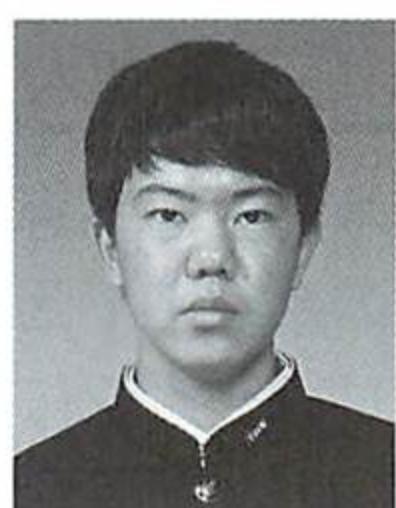
野本 大志

剣道部は3年生4名、2年生3名に加え新たに入部した1年生10名の計17名で顧問の木村先生、副顧問の高橋先生、兵藤先生のご指導のもと日々の稽古に励んでいます。

今年度から新型コロナウイルスの影響による活動の制限が大きく緩和されました。今まで義務付けられていたマスクの着用が個人の判断に委ねられ、昨年度まで開催することができなかつたOB会も今年から再開されるなど、コロナ禍以前の剣道部の活気が徐々に取り戻されているように感じます。

チーム全体の目標は「団体ベスト8」です。この目標を達成するためには日々の課題を各自でみつけ、改善できるよう日々稽古に励んでいます。

支えてくれる先生方、OBの方々、保護者の方々への感謝を忘れず精進していきますので応援よろしくお願いします。



スキー・スケート部

町田 央可

スキー・スケート部は新たに1年生を1人迎え、現在2人で活動を行っています。昨シーズンは高体連やplus up racing ski departmentさんにお世話になりながら、インターハイ出場という目標に向かって練習を重ねました。

しかし、結果はトップに大差をつけられ惨敗という悔しい結果となりました。来シーズンは、よりコーチと綿密なコミュニケーションを取りながらさらにハードに練習を積み、再起を図っていきたいと思います。

さて、我々がこのような充実した環境で日々トレーニングが行っているのはいつも手厚くサポートしてくださる保護者の方々や顧問の小林先生を始めたくさんの支えがあってこそです。この支えを胸に、今年こそはインターハイ出場という目標を達成するために一歩一歩前進していきます。



テニス部

小山田 篤司

私達は、顧問の高橋先生、副顧問の中川先生、米澤先生のご指導のもと3年13名、2年10名、1年11名の34名で個人戦では本戦出場、団体戦ではベスト4を目指し日々練習に励んでおります。

部員の中には高校に入ってからテニスを始めた者がほとんどですが、日々の効率を重視した練習の中でどんどん力をつけている。更に強豪校との差を埋めるべく、自分の強みを認識し、どのようにすれば最大限それを活かせるのか、そして相手の苦手な球種はなんなのかを分析する、相手とも自分とも徹底的に向き合うテニスを部員一同心がけています。

最後になりますが、私達を支えてくださっている先生方、保護者の皆様への感謝を忘れず、良い結果を残せるよう全力で取り組んでいきますので応援よろしくおねがいします。

**CLINIC 内科・皮膚科・泌尿器科・外科
いわい中央クリニック**
院長 神保 裕之 (スキー・スケート部83期)
診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日
安中市岩井2465-1 ☎ 027-381-2201 電話予約可

**SATO HOSPITAL 産科婦人科
館出張**
院長 佐藤 雄一 (スキー・スケート部OB(86期))
〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/

NUNANO CLINIC 沼野クリニック
内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)
院長 沼野 藤雅 (スキー・スケート部89期)
診療時間 : AM9:00~12:30 PM3:30~6:30
休診日 : 日曜・祝日 皮膚科・美容外来は木曜のみ診察
高崎市柳川町15番地 ☎ 027-322-2926



バスケットボール部

林 昂成

バスケットボール部は関東大会、インターハイ出場を目標に部員35人で活動しています。昨年度は第一体育館の改修工事があり、第二体育館の使用には制限がありました。先生方のご尽力によって活動場所を確保していただき、充実した練習を行うことができました。

しかし、1月の新人戦では第3位に入れましたが、あと一步のところで関東大会出場を逃してしまいました。この雪辱を晴らすべく、総体とインターハイ予選では「戮力協心」のスローガンのもと、ハードなディフェンスを中心としたバスケットでチーム一丸となり勝利を掴みたいと思います。

また、支えてくださる保護者やOB会の皆様、熱心な指導をしてくださる先生方への感謝を忘れずに、目標達成に向けて日々精進してまいりますので、引き続き応援よろしくお願ひします。



水泳部

玉木 聖人

水泳部は顧問の渡辺先生、鈴木先生の指導のもと、3年4名、2年2名、1年5名の計11名で活動しています。活動内容はそれぞれでクラブに通っていたり、学校で自主トレをしたりしています。加えて、週に一度集まる機会を設けて筋トレをしています。各々が目的を持って自主的に練習に励んでいます。

昨年度は、関東大会出場者を出したり、新人戦入賞したりと好成績を残すことができました。しかし目標としていたリレーでの関東大会出場は、標準記録まで3秒足りず悔しい思いもしました。リレーでの関東大会出場はもちろん、部員一眼となって各々の目標に向け更に努力を重ねていこうと思います。

最後に、私達水泳部の活動を支えてくださっている先生方、OBの皆様、そして保護者の方々には深く感謝を申し上げます。支えあっての活動ということを忘れずに、これからも日々成長を重ねていきたいと思います。今後とも応援宜しくお願ひ致します。



サッカー部

長島 伊吹

私たちサッカー部は、顧問の笠原先生、副顧問の徳光先生、渡辺先生のご指導の下、1年生20名、2年生19名、3年生17名で活動しています。

我々サッカー部は、ここ数年、なかなかベスト8に入れていないので、今年こそは高総体、インターハイでベスト8入を果たし、さらなる高みを目指すために、部員全員で切磋琢磨しながら、日々成長しています。特に、今年のチームの特徴の一つであるカウンター攻撃には磨きをかけつつ、クロス、セットプレーを重点的に取り組んでいます。

最後に、私達を支えてくださる先生方、保護者の皆様、OBの方々への感謝の気持ちを忘れずに、高校サッカー、ひいては自分たちのサッカー人生の集大成である高校総体、インターハイに向けて励んでいきますので、応援の程よろしくお願ひします。



硬式野球部

石田 英大

私たちは、顧問の高島先生、副顧問の井田先生、飯野先生、大隅先生のご指導のもと、計47名が日々練習に励んでいます。昨秋大会は、3回戦まで進んだものの私立高校相手に何もすることができず、目標であった選抜甲子園への切符を手にすることできませんでした。この悔しさをバネにして冬の練習に取り組みました。

そして迎えた春季大会では、2回戦でまたしても私立高校に敗れてしまいました。しかし、圧倒的な差を感じた秋の大会に比べて、チームの成長を感じることのできた試合でした。夏の大会ではそれらのチームに勝ち、硬式野球部の歴史で初めての夏の甲子園出場に向けてこれからも練習に励んでいきます。

最後に、多くの方々の支えによって活動ができていることに感謝し、精一杯頑張りますので、応援よろしくおねがいします。



山岳部

瀬尾 志大

私たち山岳部は、顧問の米澤先生、副顧問の國富先生、小林先生のご指導の下、3年生9名、2年生10名、1年生9名の計28名で活動しています。

新型コロナウイルスによる規制が少しずつ収まり、本校の生徒だけでなく他校の山岳部の生徒や顧問の先生方と共に山についての知識を身につけています。昨年度は多くの活動が制限されてしまい、他学年との交流をあまり行うことができなかったため、今年度からは日々の座学はもちろんのこと、山行においても互いに意見を出し合いながら活動し、交流を深めるよう努力していく予定です。

最後になりますが、OBの方々をはじめとした私達の健康面、そして有意義な部活動を支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず部活動に励んでいきますので応援よろしくおねがいします。



卓球部

相田 智洋

私達卓球部は、顧問の横田先生、副顧問の長谷川忠史先生、長谷川太一先生のご指導の下、個性的な3年生8人、騒がしい2年生7人、真面目な1年生10人の計25名で活動しています。

卓球部は一昨年度にベスト8に入って以来、ベスト4の壁を乗り越えられずにいます。今年こそはベスト4の壁を破り、部に新たな歴史を築こうと思います。

昨年度は体育館の改修工事により、例年とは違う練習になることが多々ありました。それでも顧問の先生方のお力添えにより、日々、充実した練習をすることができました。

先生方をはじめ、身近な人々の努力を忘れず、結果という最高の形で恩返しができるように全力を尽くしていきたいと思います。これからも高高卓球部の応援をよろしくおねがいします。

K A I b o u s a i I n c.
株式会社 甲斐防災

〒370-3531 高崎市足門町725-16 TEL.027-373-3915

消防用設備の工事・点検
お任せください！
代表取締役 甲斐 俊輔

(陸上部OB会長 87期)





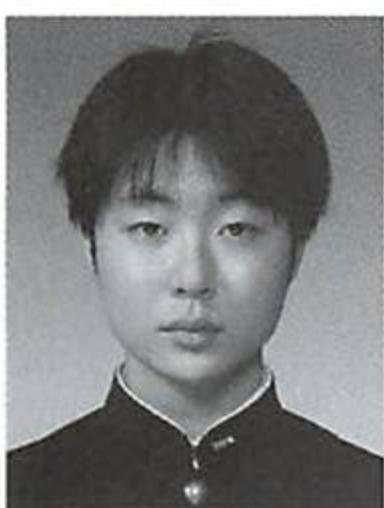
軟式野球部

黒澤 大智

私たち軟式野球部は田島先生、大久保先生、今井先生のご指導のもと、3年生11名、2年生10名、1年生6名の計27名で活動しています。

昨年は夏季大会を制覇し軟式野球部史上初となる2連覇を達成しました。今年は春季、夏季ともに優勝、そして高高では初・県勢では史上17度目となる全国大会出場を目指に限られた時間の中で質の高い練習をするように心がけています。秋季大会で浮き彫りになった課題を克服すべく、部員自らがミーティングを行ったり、積極的に遠征をして多くの経験を積むなどして前述の目標を達成すべく、高い志を持って日々前身していくことを思っています。

最後に私達をバックアップしていただいている全ての方々への感謝を常に胸に秘め、今後の活動に全力で励んでいくので、これからも応援よろしくお願ひいたします。



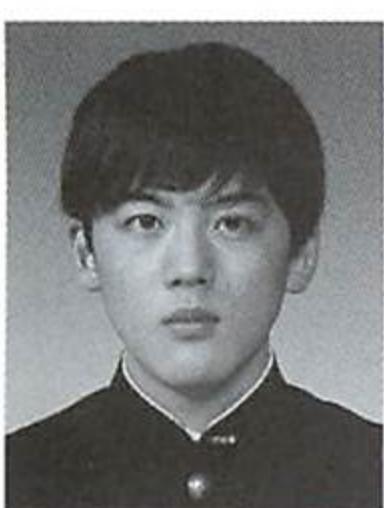
空手道部

新井 琉斗

我々空手道部は現在3年生2名、1年生3名の計5名で活動しています。顧問の岡田先生のもと、大会で入賞することを目標とし日々の練習に取り組んでいます。

2年生は0名だったので、昨年は2人のみで活動をしていました。自分たちができるを考え、基本から着実に練習を積み重ねました。廃部の危機に瀕したものの、ありがたいことに今年1年生が3人入部してくれたので首の皮一枚つなぐことができました。この伝統ある空手道部を存続させられるようにこれからも高々空手道部の魅力を伝えていこうと思っています。部員も増えたことで練習の幅も広がると思うので、さらなる技術の向上を目指し鍛錬していきます。

練習試合やリーダー養成研修会を通して、他の選手から多くのことを学ぶとともに、活動を支えてくださる全ての方々に感謝し、空手道を歩んでいこうと思います。応援よろしくお願ひいたします。



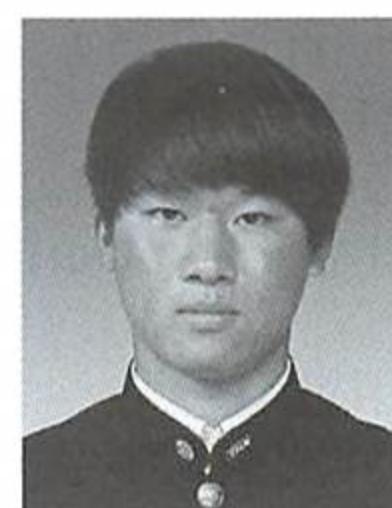
弓道部

井形 光希

私達弓道部は、顧問の金谷先生、副顧問の森戸先生、コーチの東宮先生のご指導の下、3年生7名、2年生9名、1年生11名の計27名で、日々練習に取り組んでいます。

コロナ禍以前のような交流戦や練習試合が徐々に姿を取り戻し、現在は県総体とインターハイに向けて、部員一同、射技向上に努めています。引退していった先輩方の思いも受け継いで、更に意識を高く持って練習に励み、今まで重ねてきた鍛錬の成果を大会で発揮し、関東大会出場の目標が達成できるように頑張ります。

最後になりますが、自由に部活ができること、支えてくれる方がいることに感謝し、今後の練習、大会に力を尽くしていきますので、応援よろしくお願ひします。



ラグビー部

加藤 雅也

ラグビー部は、皿山先生、斎藤先生、川田先生の御指導のもと、3年生7人、2年生11人、1年生9人の計27人で活動しています。昨年度は叶わなかった打倒私立、全国大会出場を果たすため、「Thinking Rugby」をスローガンに精進しています。

部員の半数以上は、高校からラグビーを始めた生徒なので、他校よりも質の高い練習を追求し、常に考え、部員一人一人の考えを発信し、活発な意見交換ができるように心がけています。そして、全員で切磋琢磨し、チーム一丸となって、チームのために体を張ることができるように努力しています。

最後になりますが、支えてくださっている先生方、OBの皆様、保護者の皆様、そして高崎高校ラグビー部を応援してくださる方への感謝を忘れずに、日々部活に全力で取り組んでいきますので、これからも応援よろしくお願ひします。



柔道部

茂木 風音

柔道部は、顧問の小林先生、副顧問の川田先生、そして田中先生のご指導の下、日々高みを目指して稽古に励んでいます。

柔道部では、目標である団体戦、個人戦県優勝を達成するために伝統として引き継がれている「考える柔道」を実践しています。「考える柔道」とは、先生方から教わったことをただこなすのではなく、生徒一人ひとりが主体的に思考し、生徒間で話し合いながら、「この技はどのような原理で相手を投げることができているのか。」というように、より深く踏み込んだ稽古をするというものです。この「考える柔道」によって「文」と「武」をつなぐことができると思います。

最後になりますが、日々協力してくださっている先生方や保護者の方々、OBの方々への感謝の気持ちを忘れずに、今後も精進していきます。応援よろしくおねがいします。



バドミントン部

岩崎 巧真

私達バドミントン部は、顧問の長谷川先生、副顧問の飯塚先生にご支援頂きながら部員29名で県大会ベスト8を目指し練習に励んでいます。高高バドミントン部の部員は高校からバドミントンを始めた者がほとんどで、指導者がいません。そこで私達は目標を達成すべく、部員同士で話し合いながら本や動画を参考にして、日々の練習に取り組んでいます。部員に多くの経験者がいる私立や東毛地区の高校とのハンデを埋められるよう、指導者がいない分、部員が互いにアドバイスをし合いながら頭を使ったプレーをし、勝利を掴んでいきます。

最後になりますが、部活を自由にできることへの感謝と支えてくださる方々への感謝を忘れず、これからも努力していくので応援よろしくお願ひします。

高崎駅西口

木屋駐車場

TEL 027-322-5712

〒370-0052 高崎市旭町128

鳥居 吉二(柔道部 73期)



株式会社広田住宅センター

高崎市田町92(群馬銀行高崎田町支店向かい)

TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

代表取締役 広田 金次郎(柔道部 95期)

令和4年度運動部活動状況

硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会

1回戦 3-4 清 明

秋季西毛リーグ

9-5 中央中等

8-3 安総合

8-1 高 商

12-0 藤中央・松井田

決勝トーナメント

3-4 県 央

秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 5-1 伊 商

2回戦 8-0 前 東

3回戦 0-10 育 英

春季西毛リーグ

8-1 藤中央・松井田

2-5 農 二

春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 19-0 富 実

2回戦 0-5 健大高

バレー部

第57回群馬県高等学校総合体育大会バレー部競技兼
第76回関東高等学校男子バレー部大会群馬県予選会

3回戦 2-0 渋 川

準々決 2-0 伊 商

準決勝 0-2 桐 商 第3位

全国高等学校総合体育大会バレー部競技県予選会

3回戦 2-0 太 工

準々決 2-0 伊 商

準決勝 0-2 桐 商 第3位

群馬県高等学校バレー部選手権大会兼

第74回全日本バレー部高等学校選手権大会県予選会

3回戦 2-1 館 林

準々決 2-0 高 東

準決勝 0-2 桐 商 第3位

群馬県高等学校バレー部男子新人大会

3回戦 2-0 渋 工

準々決 2-1 高 経附

準決勝 2-0 桐 商

決 勝 2-0 前 商 優勝

空手道部

インターハイ予選

団体組手 ベスト16

新人大会

団体3人制組手 第3位

水泳部

関東高校県予選

1500m自 後藤滉己 1位

50m自 高尾晴空 2位

(関東大会出場)

柔道部

《柔道競技》

令和4年度群馬県高等学校学年別柔道大会

第2学年 73kg級 中井 匠 第3位

全国高等学校柔道大会群馬県予選

団体 ベスト8

第70回群馬県高等学校新人柔道大会

団体Bブロック 第3位

令和5年度群馬県高等学校学年別柔道大会

第1学年 60kg級 中村葉流 第3位

《相撲競技》

第70回関東高等学校相撲大会

団体 ベスト16

個人 軽量級 吉田智哉 準優勝

個人 軽量級 増田恭也 第5位

ソフトテニス部

群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会

団体 準優勝

個人 ダブルス 片貝・田村ペア 第3位

個人 シングルス 片貝 準優勝

関口 第3位

ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2023

群馬県代表選考会

個人 シングルス 関口 準優勝

ラグビー部

全国7人制大会予選

1回戦 36-0 樹 徳

2回戦 62-0 渋 工

準々決 17-12 桐 一

準決勝 19-33 農 二 ベスト4

1年生大会

1回戦 14-15 合同C(高工・農二・

渋川・渋工)

敗者戦 12-7 合同D(太田・樹徳・

桐生)

群馬県選手権大会(全国大会県予選)

準々決 93-0 合同C(高工・高商・

安総)

準決勝 14-22 桐 一 ベスト4

新人大会

準々決 31-17 合同B(桐生・清桜・

樹徳・関学)

準決勝 0-102 県 央 ベスト4

軟式野球部

第70回春季関東地区高等学校軟式野球大会

群馬県予選会

1回戦 6-1 高 工

2回戦 1-3 農 二

第67回全国高等学校軟式野球選手権

北関東大会 群馬県予選大会

2回戦 7-0 前 工

準決勝 3-1 太 田

決 勝 9-6 三校連合 優勝

第67回全国高等学校軟式野球選手権 北関東大会

1回戦 0-11 作新学院(栃木)

第63回秋季関東地区高等学校軟式野球大会

群馬県予選

1回戦 0-2 高 工

群馬県高野連軟式部優秀選手表彰

伊橋 律

剣持冠多

剣道部

インターハイ予選

団体 1回戦 4-0 富 実

2回戦 1-3 育 英

選手権大会

団体 1回戦 2-2 育 英

本数負け

個人 野本 小泉

ベスト32

学年別大会(個人戦)

2年生 野本

ベスト32

新人大会

団体 1回戦 0-3 農 二

山岳部

第57回県高校総体(子持山)

第1部 男子

第8位

陸上競技部

北関東大会

走幅跳 山口 権

第7位

三段跳 松本新大

第10位

やり投 掛川 異

第22位

走高跳 萩原飛幸

群馬県選手権

1500m 萩原康介

第4位

関東選手権 萩原康介

1500m 萩原康介

予選組 第6位

県高校新人 5000m 萩原康介

優勝

三段跳 木暮耀幸

第4位

走高跳 白石結士

第2位

110mH 渋谷昌聰

第6位

走高跳 西 智大

第2位

1500m 萩原康介

第3位

走高跳 小林直人

第3位

800m 内山遙人

第6位

4×100mR 斎藤、白石、小林、桑原

第5位

関東選抜新人

やり投 掛川 異

予選落ち

100m 桑原克実

予選落ち

三段跳 白石結士

予選落ち

1500m 萩原康介

予選落ち

5000m 萩原康介

予選落ち

走高跳 小林直人

予選落ち

110mH 西 智大

予選落ち

サッカー部

2-3 太田 (1勝2負)	6位
バドミントン部	
インターハイ予選 1回戦 0-3 富実	
新人戦 1回戦 0-3 前商	
バスケットボール部	
インターハイ予選 1回戦 139- 27 棚名 2回戦 126- 19 西邑楽 3回戦 79- 77 高商 準々決 71- 80 前商	ベスト8
WC予選 1回戦 93- 35 清明 2回戦 128- 35 農工 3回戦 83- 65 伊工 準々決 66-106 育英	ベスト8
新人大会 2回戦 106- 55 前工 3回戦 74- 45 沼田 準々決 83- 62 高商 準決勝 72- 81 前商 3位決定戦 20- 0 桐一	3位
テニス部	
インターハイ予選 個人 シングルス 宮田青空 ベスト32 小山凜之介 ベスト64 花見耀 ベスト64 岩井勇真 ベスト64 新井勝也 ベスト64 ダブルス 小山・花見 ベスト16 押味・生方 ベスト16 柴田・宮田 ベスト32	
団体 1回戦 3-0 高東 2回戦 0-2 共愛	ベスト8
新人大会 個人 シングルス 宮田青空 ベスト32 新井勝也 ベスト32 小山田篤司 ベスト64 中島佳直人 ベスト64 ダブルス 宮田・新井 ベスト32 針谷・鈴木 ベスト32 中島・鯨井 ベスト32	
団体 2回戦 5-0 市前橋 3回戦 3-0 伊商 4回戦 2-3 前東	ベスト8
弓道部	
県選手権 団体 40射16中 予選落ち 個人 予選落ち	
関東個人県予選 個人 山本透 予選 4射皆中 決勝 4射2中 計6中射詰4的×○	10位 (関東大会出場)
関東個人 個人 山本透 4射1中 予選落ち	

新人大会 団体 24射9中 予選落ち 個人 小板橋柊馬 8射7中競射× 5位	
東日本予選 団体 24射6中 予選落ち 個人 予選落ち	
春季大会 団体 Aチーム 予選12射6中 決勝12射6中 決勝敗退 Bチーム 12射3中 予選落ち	
個人 井田敦也 8射7中 決勝遠近競射 2位	
~~~~~	
<b>第58回高校総体 (令和5年) 男子総合6位</b>	
<b>バレーボール部</b>	
3回戦 2-0 太田 準々決 2-1 高東 準決 0-2 桐商 第3位	
<b>ソフトテニス部</b>	
団体 1回戦 3-0 安総合 2回戦 2-0 前橋 3回戦 2-1 前商 上位リーグ戦 1-2 高商 2-1 渋川 3-0 農二 準優勝 (関東大会出場)	
個人 ダブルス 大河原・茂木ペア 優勝 片貝・田村ペア 第3位 石原・新嶋ペア ベスト16 (以上3ペア関東大会出場)	
<b>バドミントン部</b>	
団体 1回戦 2-0 伊商 2回戦 0-2 桐商	
個人 シングルス 岩崎巧真 ベスト64 新島治暁 ベスト64 長壁樹 ベスト64 佐藤舜徳 ベスト128	
<b>サッカーパー</b>	
1回戦 2-0 新田暁 2回戦 4-0 桐商 3回戦 0-6 前商 ベスト16	
<b>バスケットボール部</b>	
2回戦 101- 65 太工 3回戦 81- 83 新島 ベスト16	
<b>山岳部</b>	
個人 初戦敗退	第8位
<b>空手道部</b>	

<b>剣道部</b>
団体 1回戦 0-2 興陽 個人 井上 ベスト8
<b>弓道部</b>
団体 予選 24射11中 決勝 24射11中 計11中 決勝敗退
個人 井形 予選4射3中 決勝4射3中 川越 予選4射皆中 決勝4射2中 井田 予選4射3中 決勝4射2中 決勝敗退
<b>テニス部</b>
団体 2回戦 3-0 大泉 3回戦 2-0 前工 4回戦 0-2 商大附 ベスト8
<b>卓球部</b>
団体 2回戦 3-0 前工 3回戦 3-0 館林 4回戦 1-3 前橋 ベスト8 順位決定リーグ 2-3 高工 3-0 渋川 1-3 伊商 第7位 個人 シングルス 小玉直嵩 ベスト32
<b>ラグビー部</b>
準々決 50- 0 合同C(樹徳・桐生・清桜・関学) 準決勝 0-90 県央 3位決定戦 14-53 桐一 第4位
<b>柔道部</b>
《柔道競技》 団体 奈良 個人 2回戦敗退
《相撲競技》 団体 奈良 個人 中村、中井 (関東大会出場)
<b>陸上競技部</b>
やり投 掛川翼 第2位 三段跳 白石結士 第6位 800m 内山遙人 第4位 1500m 内山遙人 第6位 混成8種 松本海里 第4位 4×400mR 藤井、桑原、吉澤、島田 第6位 (上記種目で関東大会出場) 総合第6位
<b>スキー・スケート部</b>
《スキー競技》 GS 8位 SL 9位 関東総体 GS 32位 SL 27位

**目指せ!全国制覇**  
**チャレンジ** 高崎高校  
ソフトテニス部  
高中庭球部応援歌より  
あゝ東西の両洋に テニスの覇者をうたわれし  
好漢清水を出したる 我等は高中健児なり  
ソフトテニス部OB会

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号  
有限会社 田口総合設計  
創業57年 群馬県知事(16)98号  
有限会社 田口不動産 1級建築士 田口恵一  
(74期 ソフトテニス部OB)  
〒370-0846  
高崎市下和田町一丁目1番1号 TEL 027-322-2492

**木村動物病院**  
高崎市吉井町池1369-1  
TEL 027-387-2520  
**城南大橋どうぶつ病院**  
高崎市寺尾町2623-6  
TEL 027-384-3000  
72期・100期 ソフトテニス部OB

## 翠巒体育会役員名簿

(令和5.6.22)

役職	氏名	期	運動部名
会長	大田部 功	85	ラグビー
副会長	山岸 祐二	79	水泳
〃	志田 登	82	柔道
〃	清水 威	85	硬式野球
〃	橋爪 洋介	85	卓球
〃	仲澤 賢一	86	バスケットボール
〃	滝野 修司	86	剣道
〃	甲斐 俊輔	87	陸上競技
〃	根岸 強	87	サッカー
〃	小林 優介	103	ソフトテニス
〃(会計編集委員)	吉井 章一	78	山岳
〃(編集委員)	北村 真行	85	テニス
〃(事務局)	櫻井 健一	87	応援
〃(事務局)	坂本 弘	87	バレー
〃(事務局)	井野 周平	91	ラグビー
監査	横田 裕正	92	スキー・スケート
〃	波多野重雄	77	陸上競技
顧問	波瀬 憲昭	81	バレー
〃	國峯善次郎	50	サッカー
〃	岩田 武雄	53	バスケット
〃	高橋 浩生	78	バレー
理事(情報部長)	堤 康高	71	卓球
〃(会計)	清水 元	91	硬式野球
〃(事務局)	小澤 朋克	99	バスケット
理事	高橋 孝史	97	バレー
〃	塚越 英男	91	剣道

役職	氏名	期	運動部名
理事	萩原 克明	93	剣道
〃	鳥居 吉二	73	柔道
〃	市川 英久	91	〃
〃	広田金次郎	95	〃
〃	茂原 賢三	89	陸上競技
〃	石橋 修	90	〃
〃	中山 拓紀	102	〃
〃	相澤 悅郎	88	ラグビー
〃	高橋 哲人	89	〃
〃	黒田 和宏	99	〃
〃	永尾 俊弘	70	水泳
〃	斎藤 全賢	75	〃
〃	伊藤 祐司	75	〃
〃	須藤 聰	78	〃
〃	羽鳥 広平	104	卓球
〃	宮原丈太朗	111	〃
〃	石田 和久	75	ソフトテニス
〃	深堀 将平	111	〃
〃	新嶋 拓哉	111	〃
〃	富田 和弘	85	応援
〃	佐藤 英樹	92	〃
〃	根岸 彰	103	〃
〃	武藤 靖秀	106	〃
〃	遠山 昇	79	サッカー
〃	安藤 英彦	86	〃
〃	佐藤 雄一	97	〃

役職	氏名	期	運動部名
理事	高山 雄介	100	サッカー
〃	小林 均	77	硬式野球
〃	堀込 貴	84	〃
〃	赤澤 正喜	84	〃
〃	北嶋 聰二	87	バスケットボール
〃	鈴木 徹也	88	〃
〃	小澤 朋克	99	〃
〃	児島健太郎	100	〃
〃	松本 基志	77	山岳
〃	須川 光一	79	〃
〃	齋藤 英敏	83	テニス
〃	長谷川泰三	83	〃
〃	松本 潔志	85	〃
〃	神保 裕之	83	スキー・スケート
〃	佐藤 雄一	86	〃
〃	沼野 藤雅	89	〃
理事(編集委員)	芳賀 弘幸	81	ラグビー
〃	伊藤俊一郎	92	柔道
〃	武山 雄海	102	バレー
〃	清水 健一	104	ソフトテニス
〃	高橋 秀仁	107	卓球
編集委員	提箸 宏	74	サッカー
〃	新藤 洋一	81	水泳
〃	藤井 正弘	81	応援
〃	戸澤 健	92	硬式野球
〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート
〃	角岡 大悟	96	剣道
〃	足立 晋	96	陸上競技
〃	塚本 浩史	99	バスケット

## 学校側顧問

校長	小林 智宏
教頭	小西 弘通・田中 利明
事務長	原澤 誠
運動部長	小澤 朋克
事務局	小澤 朋克
硬式野球	高島 喜美夫・井田 郁浩・飯野 道彦・大隅 昭彦
ラグビー	皿山 倫義・齊藤 幸男・川田 智広
サッカー	笠原 宗太・徳光 尚之・渡辺 彰
陸上競技	稻垣 圭吾・岡田 直之・廣井 達人
水泳	渡辺 彰・鈴木 幸英
山岳	米澤 育夫・國富 充敏・小林 浩
応援	竹内 聰・平川 哲也
ソフトテニス	菊地 将史・小林 浩
テニス	高橋 建次・中川 浩之・米澤 育夫
スキー・スケート	小林 浩・一場 尚子
バスケットボール	小澤 朋克・川田 亮一
バレー	砂川 智哉・平川 哲也
卓球	横田 謙人・長谷川 忠史・長谷川 太一
剣道	木村 拓哉・高橋 瑛人・兵藤 敦紀
柔道	小林 裕貴・川田 智広・田中 利明
弓道	金谷 学・森戸 麻子
空手道	岡田 一輝・竹内 聰
軟式野球	田島 悅男・大久保 泰希・今井 健太
バドミントン	長谷川 太一・飯塚 勇一



## OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
ソフトテニス部OB会	田口 恵一	74
サッカーチームOB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
山岳部OB会	松本 基志	77
水泳部OB会	島崎 秀明	77
剣道部OB会	小池 政一	77
ラグビーチームOB会	今村 孝之	80
テニス部OB会	林 正和	81
バレー部OB会	波瀬 憲昭	81
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
バスケットボール部OB会	仲澤 賢一	86
陸上競技部OB会	甲斐 俊輔	87

- 〔提箸・サッカーチーム・74期〕  
 会報42号を発行することができました。ご寄稿いただきまして、皆様には心より感謝申し上げます。  
 コロナ禍になって三年、この五月によくインフルエンザ同様の扱いになり、出口が見えてきました。  
 母校の南側の観音山の高台にある我が家には、夕暮れ時、金屬バットの音と、プレーする後輩たちの声が聞こえてきます。  
 体育館の裏の道を通ると、応援部の太鼓とエール、金管の音。

さらには、翠巒祭での和太鼓部の乱打、ファイアの歓声。今まで当たり前と思っていた光景がようやく戻ってきました。  
 OB会活動も、制約を受ける中で、それぞれの団体が、工夫しながら続けてこられたことと思います。そして、いま、まさに新年度の活動を始めようと取り組まれているところなのかもしれません。本号の発行を機に、「現役生の支援」と「OB相互の交流」が、さらに図られたらと願っております。